

参 考 资 料

●豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画策定会議

【設置要綱】

(設置)

第1条 豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画（以下「推進計画」という。）を策定するため、豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画策定会議（以下「策定会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定会議は、次の事務を所掌する。

- (1) 推進計画策定の方針及び重要事項の調整に関すること。
- (2) 推進計画原案の立案に関すること。

(組織)

第3条 策定会議は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

- 2 会長、副会長及び委員には、別表1に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 会長は、策定会議を招集し、会議の議長となり、会務を総理する。
- 4 会長に事故があるときは、副会長がその職務を代理する。
- 5 会長は、必要と認めるときは関係職員の出席を求め、意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(幹事会)

第4条 策定会議に幹事会を置き、幹事長及び幹事をもって組織する。

- 2 幹事長、幹事には、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 幹事長は、幹事会を招集し、会議の議長となり、会務を総理する。
- 4 幹事会は、第2条に掲げる事項について検討を行い、必要な資料を策定会議に提出する。
- 5 幹事長は、必要と認めるときは関係者の出席を求め、意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(事務局)

第5条 策定会議の庶務は、事務局において処理する。

- 2 事務局は、文化・スポーツ部「スポーツのまち」づくり課の職員をもって充てる。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、策定会議の運営に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年5月15日から施行する。

別表 1 (第 3 条関係)

役 職	職 名
会 長	副市長 (金田副市長)
副会長	副市長 (有野副市長)
委 員	教育長
委 員	総務部長
委 員	財務部長
委 員	企画部長
委 員	文化・スポーツ部長
委 員	福祉部長
委 員	健康部長
委 員	産業部長
委 員	都市計画部長
委 員	教育部長

別表 2 (第 4 条関係)

役 職	職 名
幹事長	文化・スポーツ部次長
幹 事	「スポーツのまち」づくり課長
幹 事	長寿介護課長
幹 事	障害福祉課長
幹 事	健康政策課長
幹 事	都市計画課長
幹 事	公園緑地課長
幹 事	教育政策課長
幹 事	生涯学習課長

●豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画策定市民委員会

【設置要綱】

（設置）

第1条 豊橋市生涯スポーツ推進計画の改定にあたり、多方面からの市民意見を反映させ、「スポーツのまち」づくりを着実に進めていくため、豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画策定市民委員会（以下「市民委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 市民委員会は、次の事務を所掌する。

- （1）本市が戦略的に取り組む必要がある「スポーツのまち」づくりのテーマについて、社会潮流や顕在化する課題を踏まえて「する」「観る」「支える」スポーツに関する議論をし計画の取りまとめを行う。
- （2）その他必要な事項について議論し意見する。

（委員の構成）

第3条 市民委員会は、別表1に掲げる委員により組織する。

2 委員は、市長が委嘱する。

（委員の任期）

第4条 委員の任期は、市長が委嘱した日から令和3年3月31日までとする。

（組織）

第5条 市民委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、市民委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

3 委員長が不在の場合には、副委員長がその職務を代理する。

4 委員会は、委員の過半数の出席によって成立する。

5 会議の議決は、出席者の過半数の同意を得て決定する。

（庶務）

第7条 市民委員会の庶務は、文化・スポーツ部「スポーツのまち」づくり課において行う。

（雑則）

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年5月25日から施行する。

別表 1 (第 3 条関係)

区分	所属団体・役職	委員氏名
学識・医療	豊橋創造大学大学院 健康科学研究科 教授	後藤 勝正
	愛知大学 地域政策学部 教授	元 晶煜
	マミーローズクリニック 産婦人科医スポーツドクター	宮本 由記
地域・イベント	総合型地域スポーツクラブSKITS	鈴木 三和子
	豊橋市スポーツ推進委員協議会 会長	小島 啓介
	NPO法人アンドエス 理事長	菅沼 卓徒
競技	(公財) 豊橋市体育協会 常務理事	村田 安朗
	(公財) 豊橋市体育協会 (元アスリート)	増田 智実
	中小学校体育連盟事務局	守屋 貴弘
	豊橋老人クラブ連合会 保健体育部 部長	森 義和
	豊橋障害者(児)団体連合協議会 会長	山下 徹
スポーツ施設管理	ハマダスポーツ企画株式会社	増田 典子

●豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画策定の経過

年 月 日	事 項	内 容
2020（令和2）年 5月25日	第1回策定会議 の開催	計画の策定、策定市民委員会の設置、策定体制、スケジュール（案）について
2020（令和2）年 7月2日	第1回策定市民 委員会の開催	前計画の総括、計画のビジョン及び政策の方向性について
2020（令和2）年 7月10日	第1回幹事会の 開催	前計画の総括、計画の策定趣旨、計画のビジョン及び政策の方向性、今後のスケジュールについて
2020（令和2）年 7月21日	第2回策定会議 の開催	前計画の総括、計画の策定趣旨、計画のビジョン及び政策の方向性、今後のスケジュールについて
2020（令和2）年 7月28日	教育委員会定例 会への意見聴取	計画の策定について
2020（令和2）年 8月1日～8月19日	市民意識アンケ ートの実施	無作為抽出した市内の16歳以上3,000人を対象にアンケートを実施
2020（令和2）年 8月24日	第3回策定会議 の開催	計画の策定趣旨、前計画の総括、計画のビジョン及び政策の方向性、今後のスケジュールについて
2020（令和2）年 8月25日～11月13日	関係事業・団体 等ヒアリング等 の実施	市内の関係事業者・（公財）豊橋市体育協会加盟団体・総合型地域スポーツクラブ・障害者団体を対象にヒアリングとアンケートによる調査を実施
2020（令和2）年 11月19日	第2回策定市民 委員会の開催	計画の素案について 今後のスケジュールについて
2020（令和2）年 12月16日	第2回幹事会の 開催	計画（案）について 今後のスケジュールについて
2020（令和2）年 12月21日	第4回策定会議 の開催	計画（案）について 今後のスケジュールについて
2020（令和2）年 12月23日	教育委員会定例 会への意見聴取	計画（案）について

● 「スポーツ」に関する市民意識アンケート調査結果

1. 調査概要

- ・調査期間 2020（令和2）年8月1日（土）から8月19日（水）まで
- ・調査対象 市内在住の16歳以上の男女
- ・送付数 3,000人分（住民基本台帳から無作為抽出）
- ・調査方法 設問用紙を郵送し、郵送またはWebにより回答
- ・回答数 1,036人（34.5%）
- ・属性 性別・年代の内訳は次のとおり

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
男性	19(1.9%)	34(3.3%)	60(5.9%)	84(8.2%)	68(6.7%)	75(7.4%)	127(12.4%)	467(45.8%)
女性	21(2.1%)	34(3.3%)	75(7.4%)	86(8.4%)	94(9.2%)	104(10.2%)	138(13.5%)	552(54.1%)
その他	—	—	1(0.1%)	—	—	—	—	1(0.1%)
総計	40(4.0%)	68(6.6%)	136(13.4%)	170(16.6%)	162(15.9%)	179(17.6%)	265(25.9%)	1,020
無回答								16

*集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%にならないことがあります。

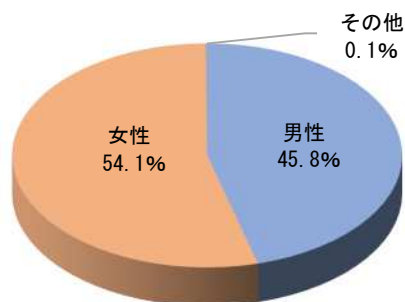
*本文中の各設問の図中に示されている「n=〇〇」の数値は、当該設問の有効回答者数です。

*回答比率（%）は、その設問の有効回答者数を母数として算出しています。

2. アンケート結果

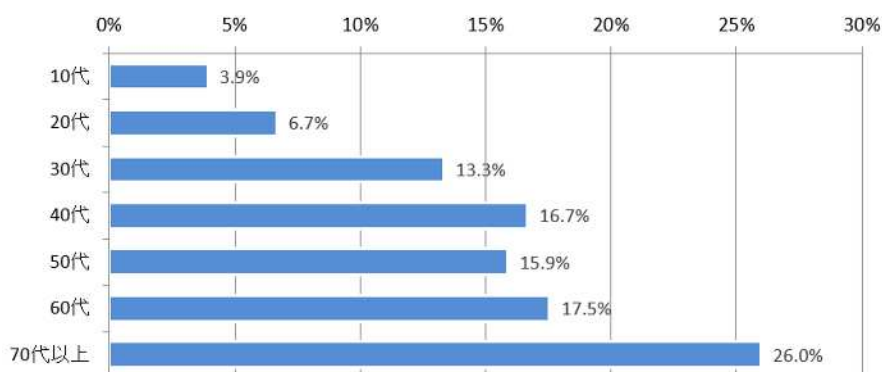
■ あなたのことについて

問1 性別を教えてください



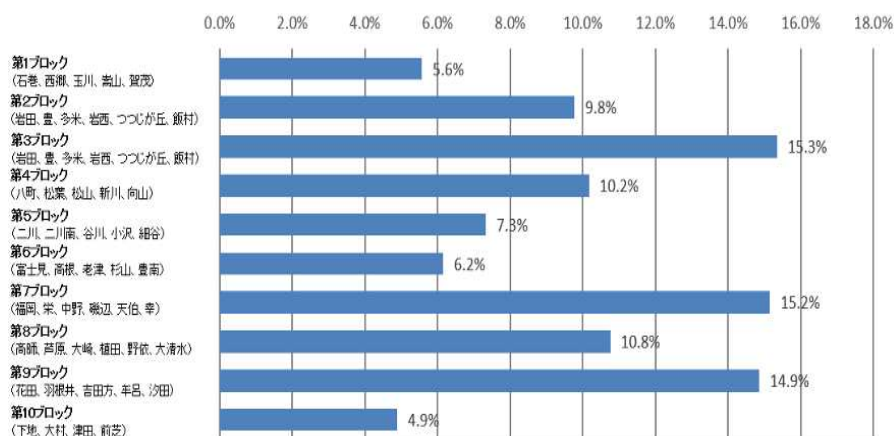
n=1,020

問2 年代を教えてください



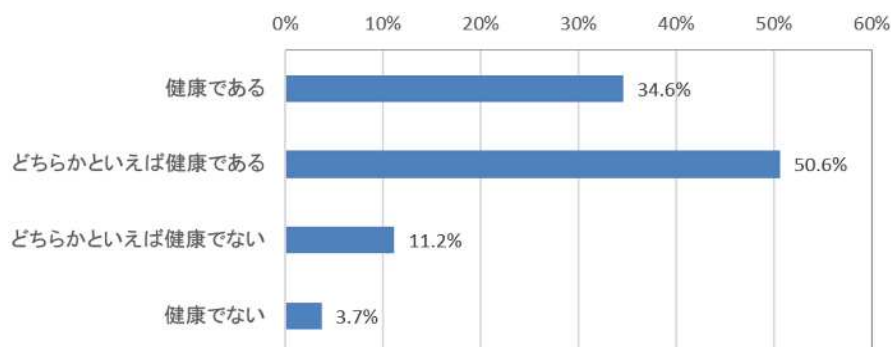
n=1,020

問3 お住まいの校区ブロックを教えてください



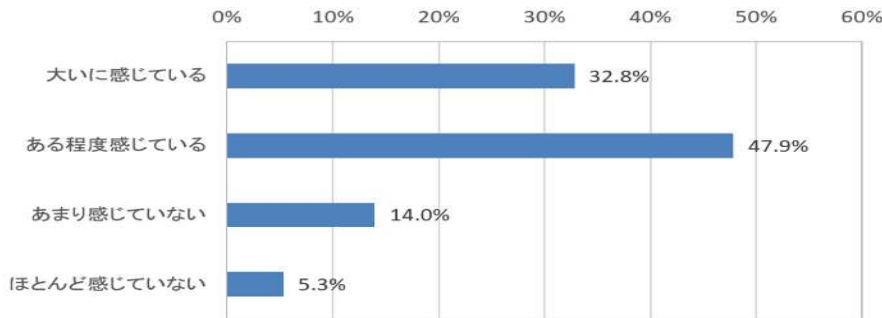
n=1,023

問4 あなたは現在、自身の健康についてどう感じていますか



n=1,030

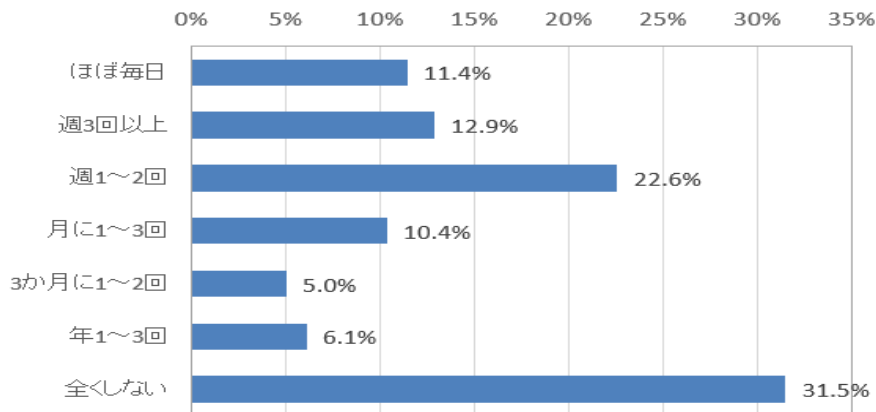
問5 あなたは、普段、運動不足を感じていますか



n=1,030

■スポーツを「する」について

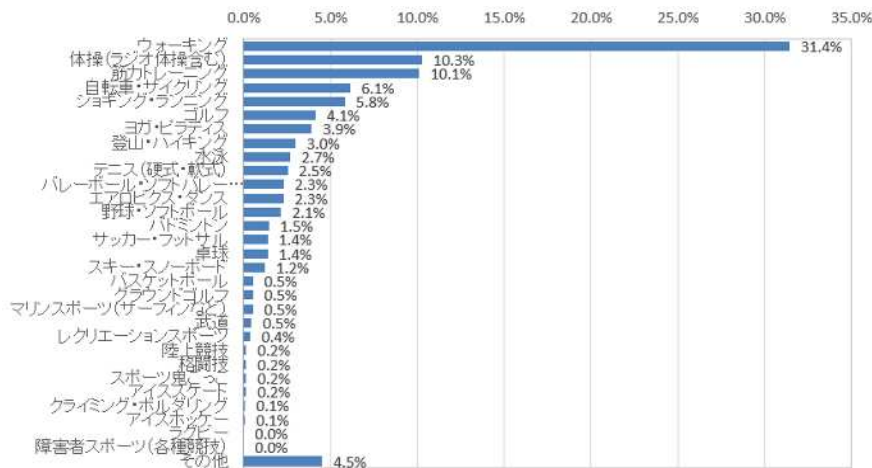
問6 この1年間、どのくらいの頻度でスポーツをしていますか



n=1,031

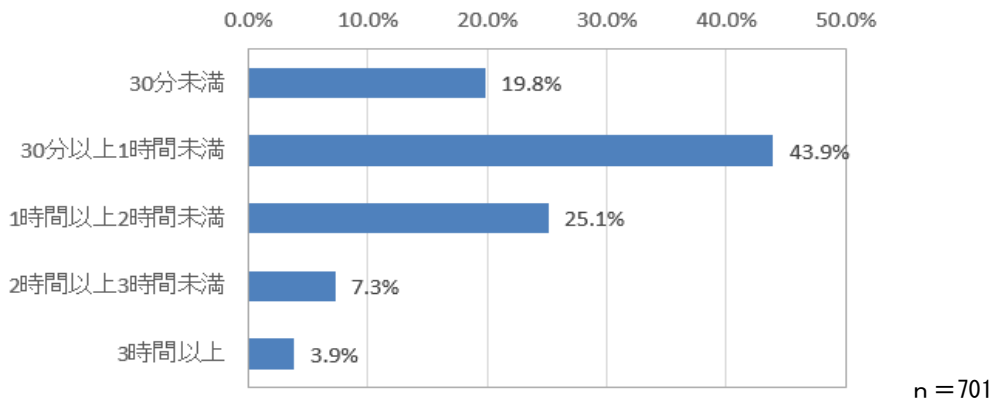
問6-1 (問6で「1~6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします)

あなたがよくするスポーツは何ですか (回答は3つまで)

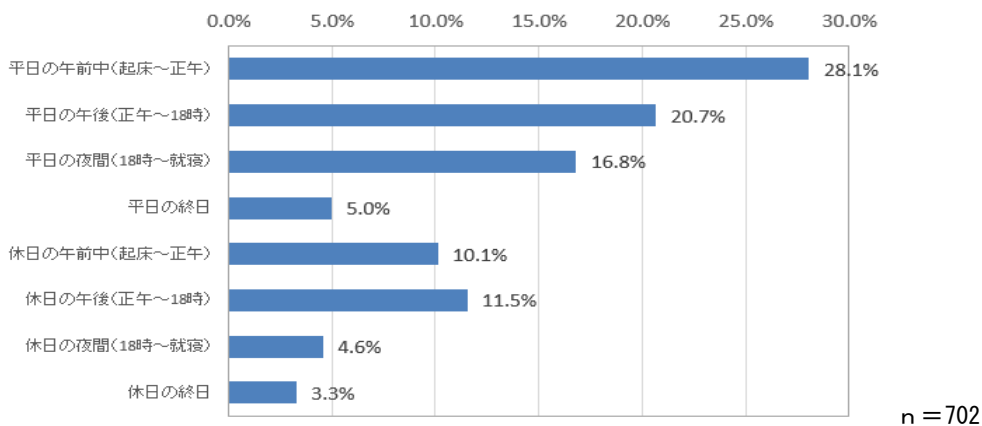


n=1,304

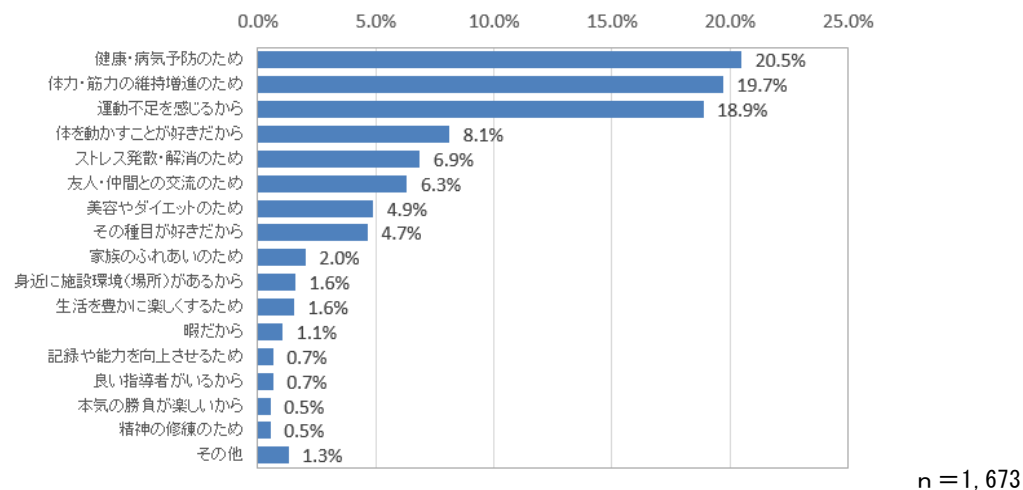
問6-2 (問6で「1~6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします)
1回あたり平均してどのくらいの時間しますか



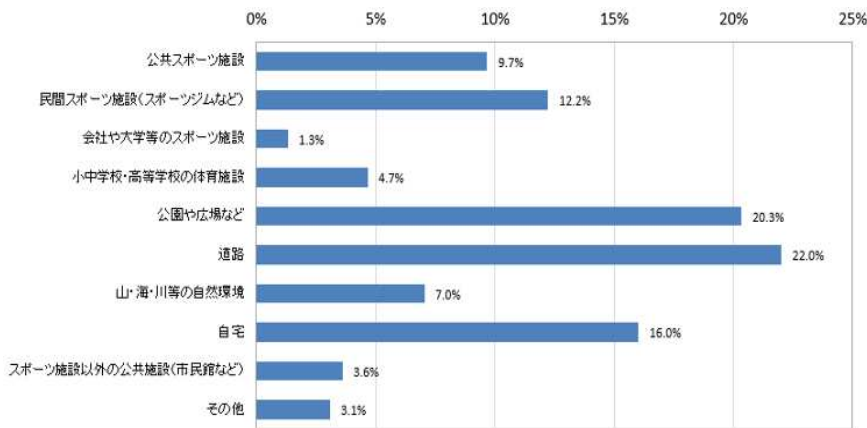
問6-3 (問6で「1~6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします)
スポーツを主にいつしていますか



問6-4 (問6で「1~6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします)
あなたがスポーツをする主な理由(目的)は何ですか(回答は3つまで)

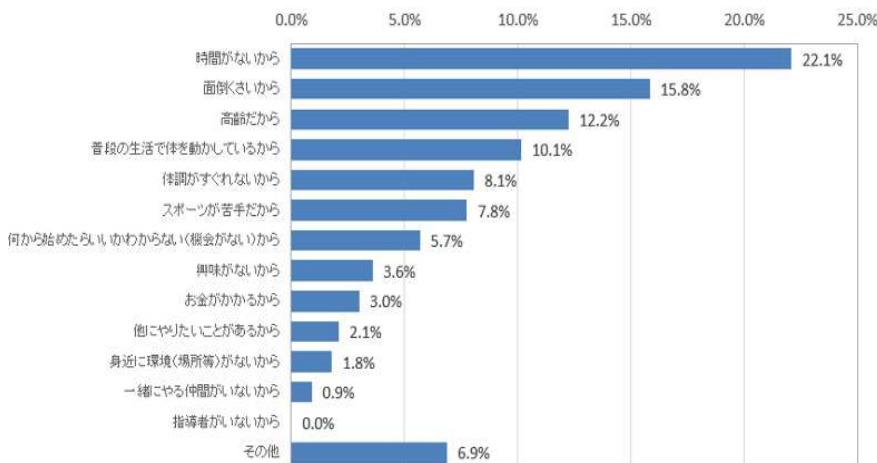


問6-5 (問6で「1~6 スポーツをしている」と回答した方にお聞きします)
 あなたがスポーツをする主な施設や場所はどこですか (回答は3つまで)



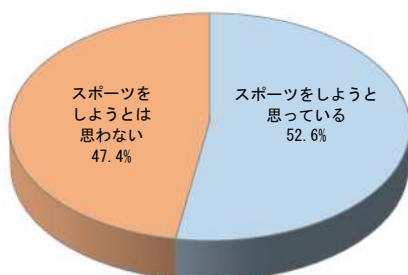
n = 1,136

問6-6 (問6で「7 全くしない」と回答した方にお聞きします)
 この1年間にスポーツをしなかった主な理由は何ですか



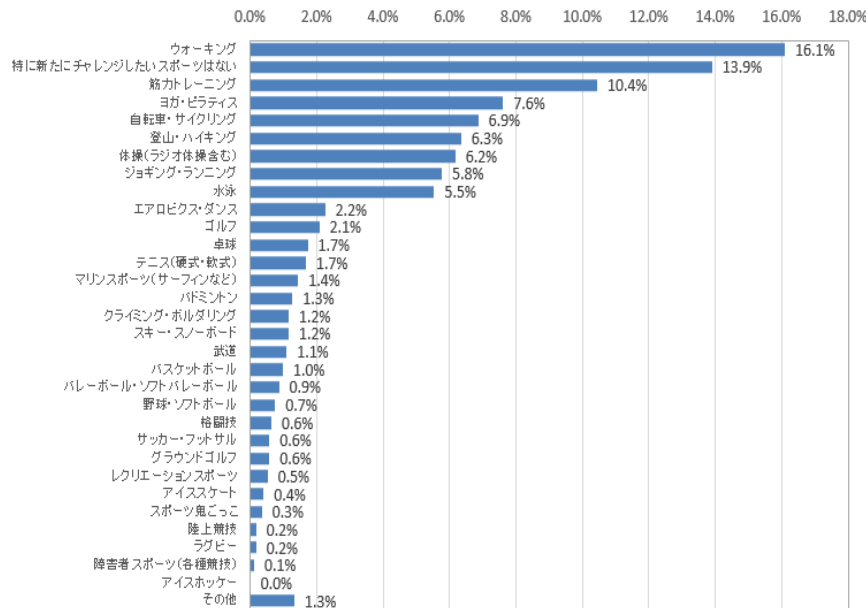
n = 335

問6-7 (問6で「7 全くしない」と回答した方にお聞きします)
 今後スポーツをしようと思っていますか



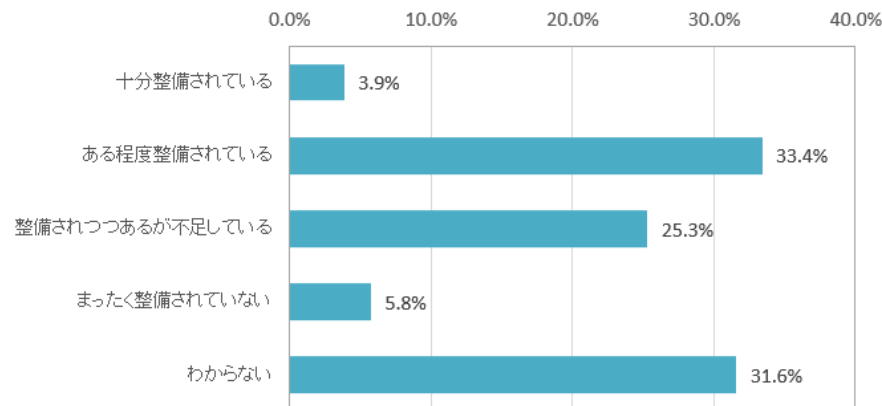
n = 312

問7 あなたは、これから新たにどんなスポーツにチャレンジしたいと思いますか（回答は3つまで）



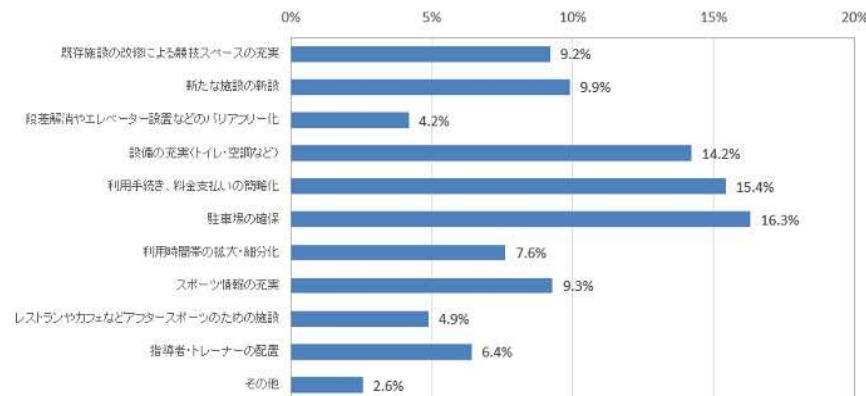
n = 1,734

問8 あなたは、豊橋市内においてスポーツをする環境は整備されていると思いますか



n = 1,003

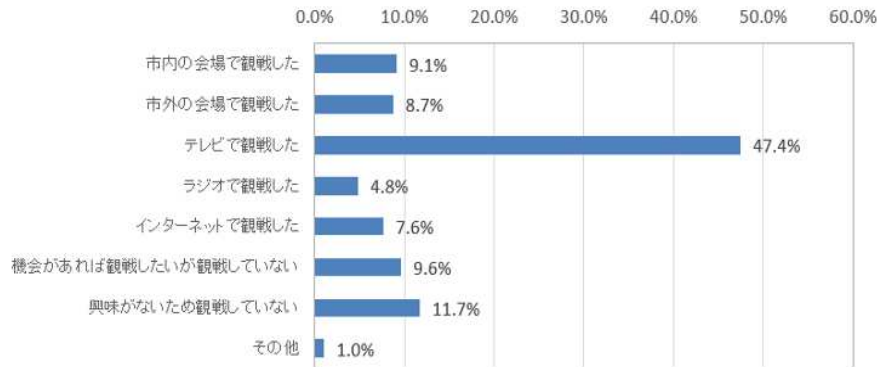
問9 あなたは、施設を利用する上で、スポーツがしやすくなる環境とするために何が必要だと思いますか（回答は3つまで）



n = 2,152

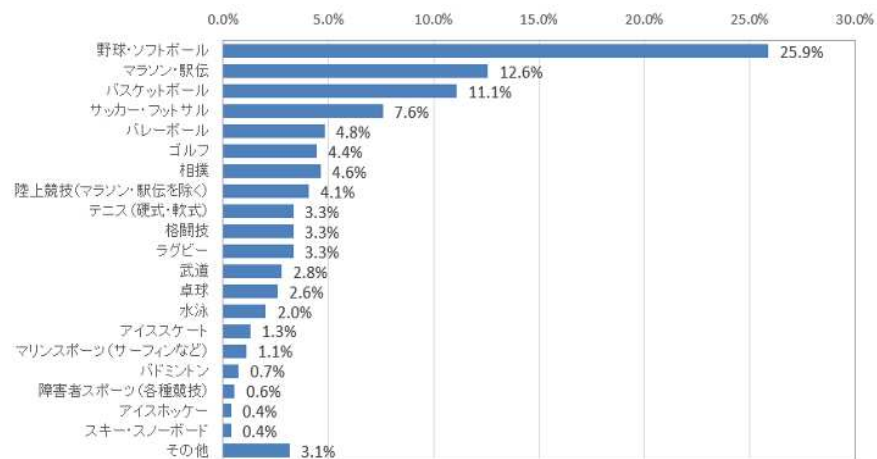
■スポーツを「みる」について

問 10 あなたは、この1年間で何らかの形でスポーツをみる機会がありましたか（回答は3つまで）
ただし、スポーツニュースなどで試合結果を見ることは観戦には含めません



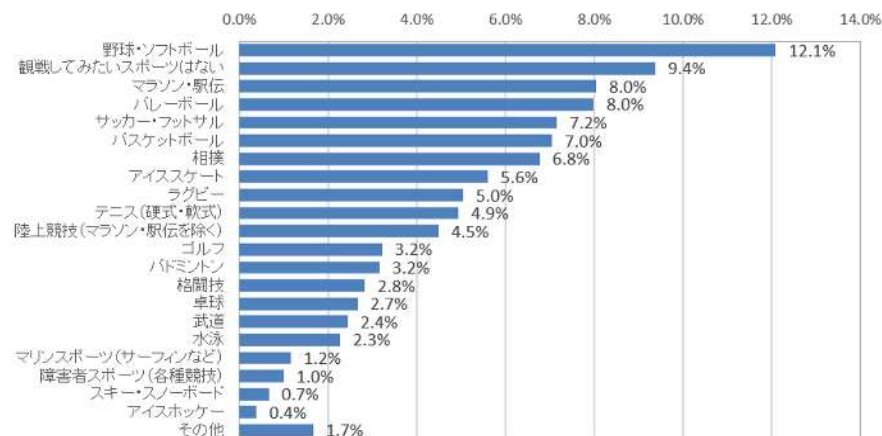
n = 1,480

問 11 （問 10 で「1・2 会場で観戦した」と回答した方にお聞きします）
あなたがこの1年間に会場で観戦したスポーツ種目は何ですか（回答は3つまで）



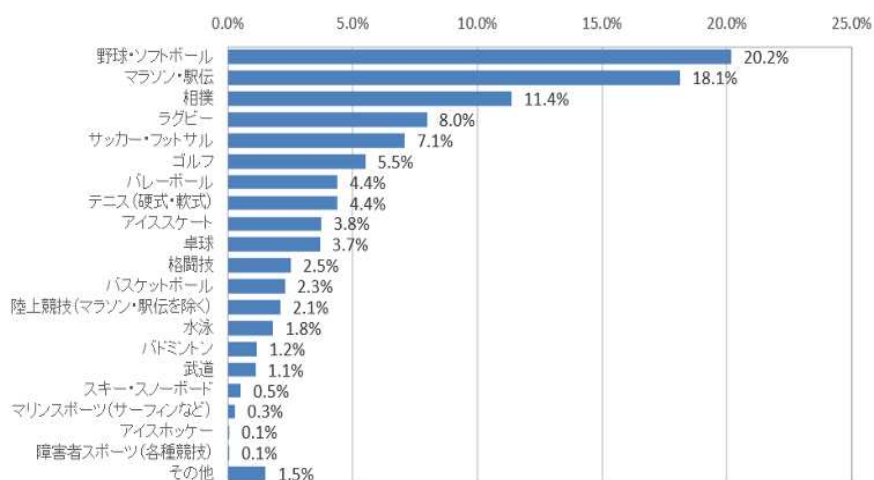
n = 541

問 12 今後、競技会場で直接観戦してみたいスポーツ種目は何ですか（回答は3つまで）



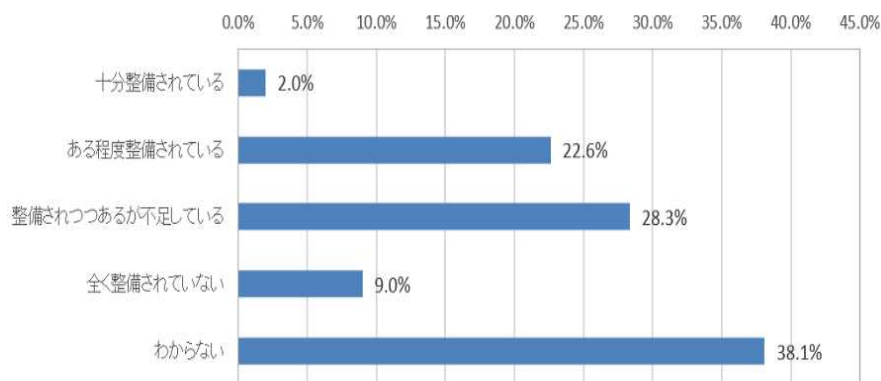
n = 1,803

問 13 (問 10 で「3・4・5 テレビ・ラジオ・インターネットで観戦した」と回答した方にお聞きします)
 あなたがこの 1 年間に観戦したスポーツの種目は何ですか (回答は 3 つまで)



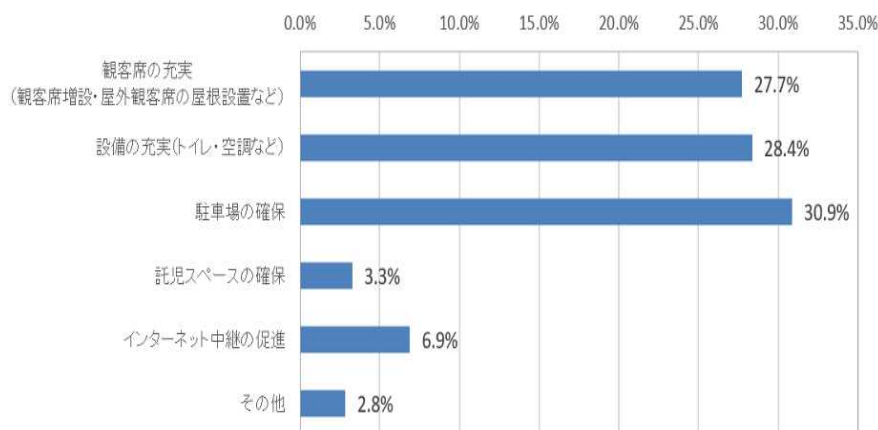
n = 1,705

問 14 あなたは、豊橋市内において、スポーツの観戦や応援をする環境は整備されていると思いますか



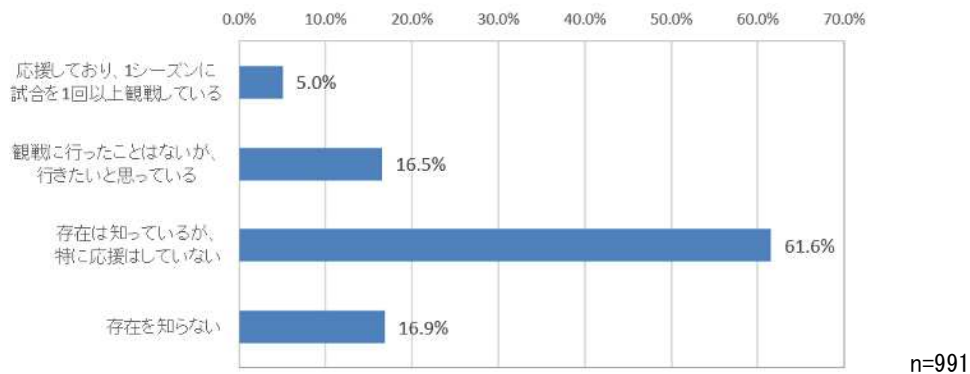
n = 1,013

問 15 スポーツの観戦や応援がしやすくなる環境とするため、何が必要だと思えますか (回答は 3 つまで)



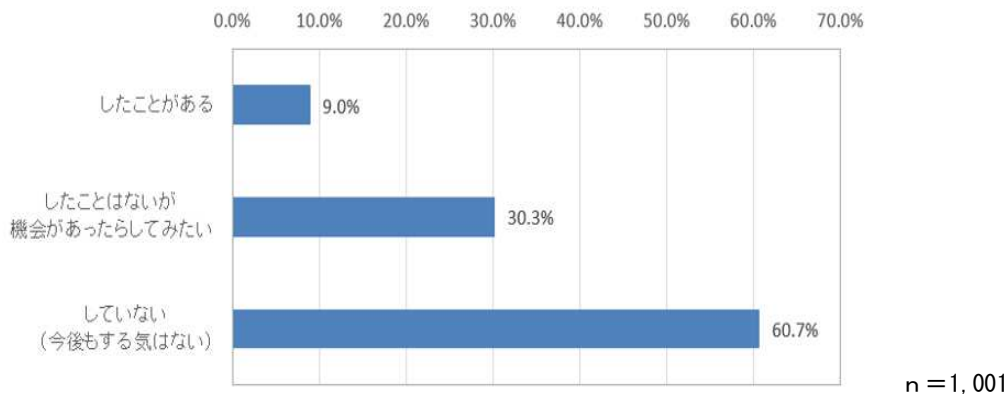
n = 2,073

問 16 プロバスケットボールチーム「三遠ネオフェニックス」が豊橋市を本拠地に活動しています。あなたの認識・気持ちにいちばん近いものを選んでください。

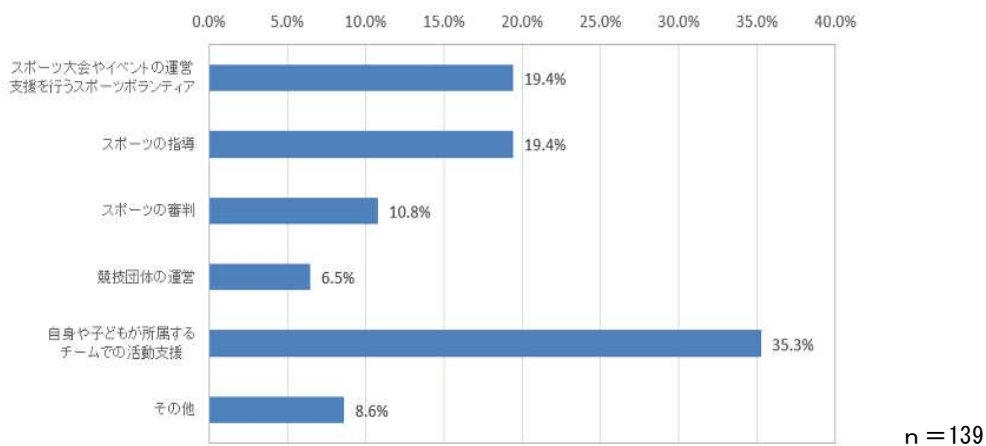


■ スポーツを「ささえる」について

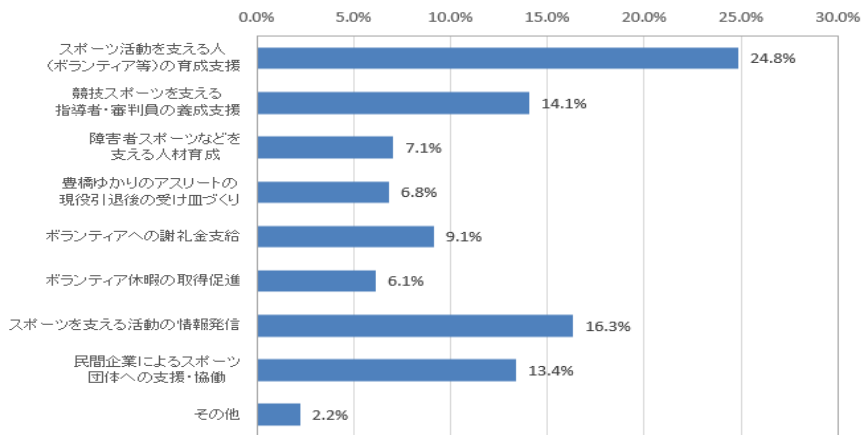
問 17 あなたは、この1年間において、スポーツを「ささえる」活動をしましたか



問 18 (問 17 で「1 したことがある」と回答した方にお聞きします) あなたがしたことのあるスポーツを「ささえる」活動は何ですか (回答はいくつでも)



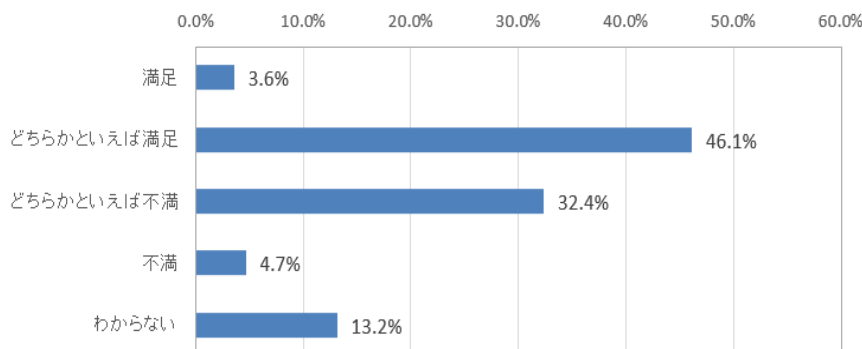
問 19 今後、スポーツを「ささえる」活動に必要なことは何だと思えますか（回答は3つまで）



n = 2,069

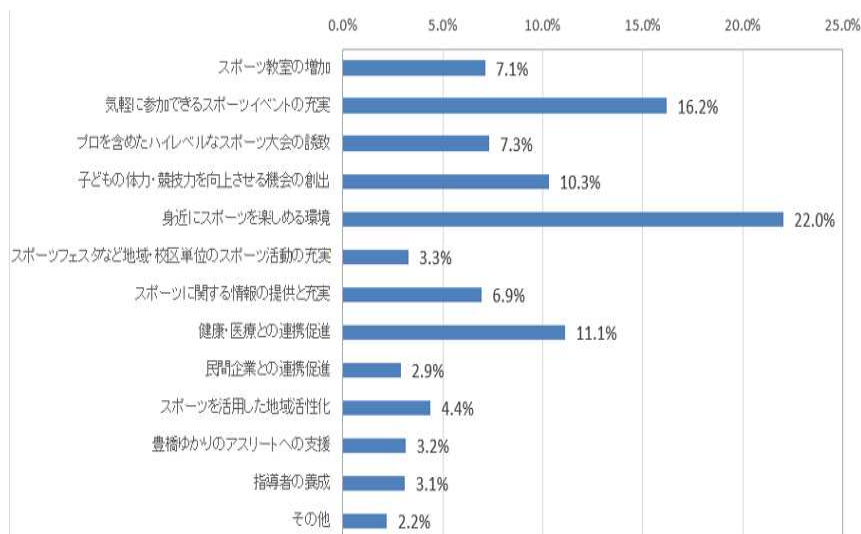
■スポーツ環境について

問 20 あなたは、豊橋市のスポーツ環境に満足していますか



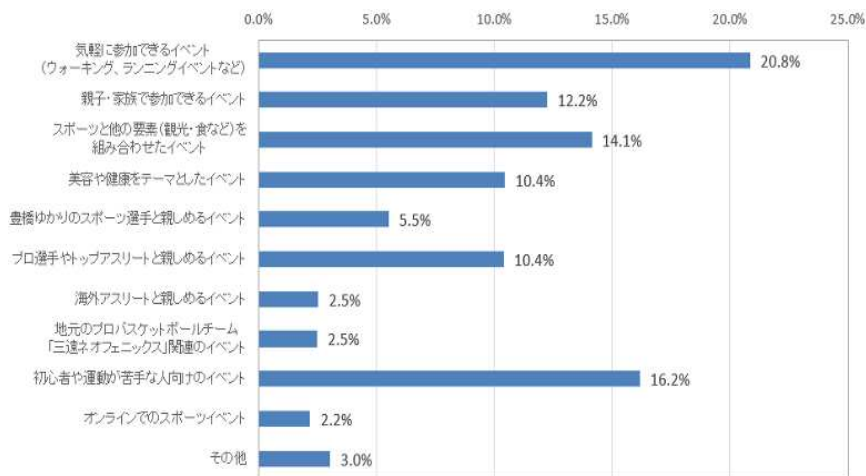
n = 1,025

問 21 あなたは、今後、豊橋市のスポーツ環境に何を求めますか（回答は3つまで）



n = 2,349

問 22 あなたは、これからどのようなスポーツイベントであれば参加してみたいと思いますか（回答は3つまで）

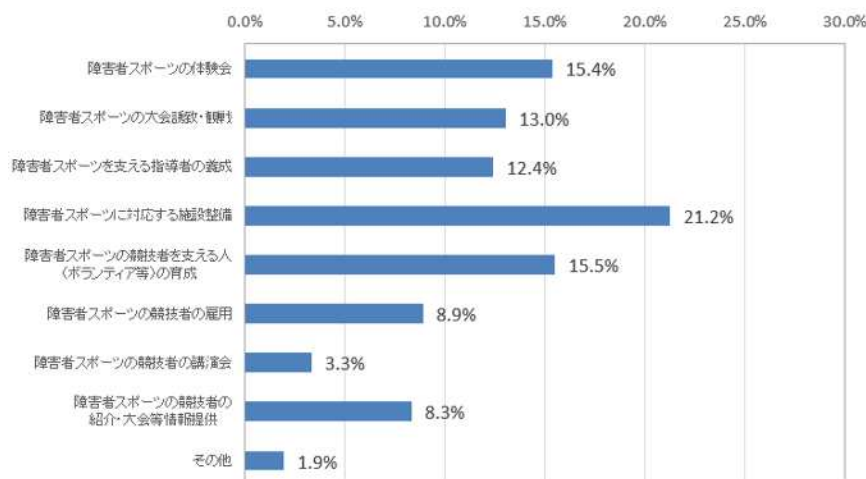


n = 2,010

問 23 共生社会の実現のために生涯スポーツへの理解促進に向けた取組みが必要と考えています。その手法として有効と思われるものを選んでください。(回答は3つまで)

共生社会とは・・・

障害の有無にかかわらず、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会のことをいいます。



n = 2,104

●スポーツ施設の整備の方向性

1 スポーツ施設の整備の方向性の考え方

(1) 背景と目的

本市のスポーツ施設の多くは、1970年代以降順次整備されてきましたが、老朽化が進行しているほか、スポーツを取り巻く環境変化への対応が求められていることなどから機能の見直しや改築等を検討していく必要が生じています。

また、人口減少に伴う財政規模の縮小が見込まれる中でスポーツ施設を充実させていくためには、スポーツ施設の今後の整備の方向性について検討を行い、その結果を踏まえて施設の改修や整備を進めていく必要があります。

(2) 豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画における施設に関する考え方

豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画では6つの基本施策のひとつに、「スポーツ施設の整備・機能充実」を位置付けています。その基本施策の考えとしては、市民が安全かつ快適な施設環境のもと気軽にスポーツ活動に取り組めるよう、施設の規模や特性、利用状況や将来的なニーズなどを踏まえながら、スポーツ施設の整備を進めるとともに機能の充実を図るものとしています。

【参考】豊橋市公共施設等総合管理方針における考え方

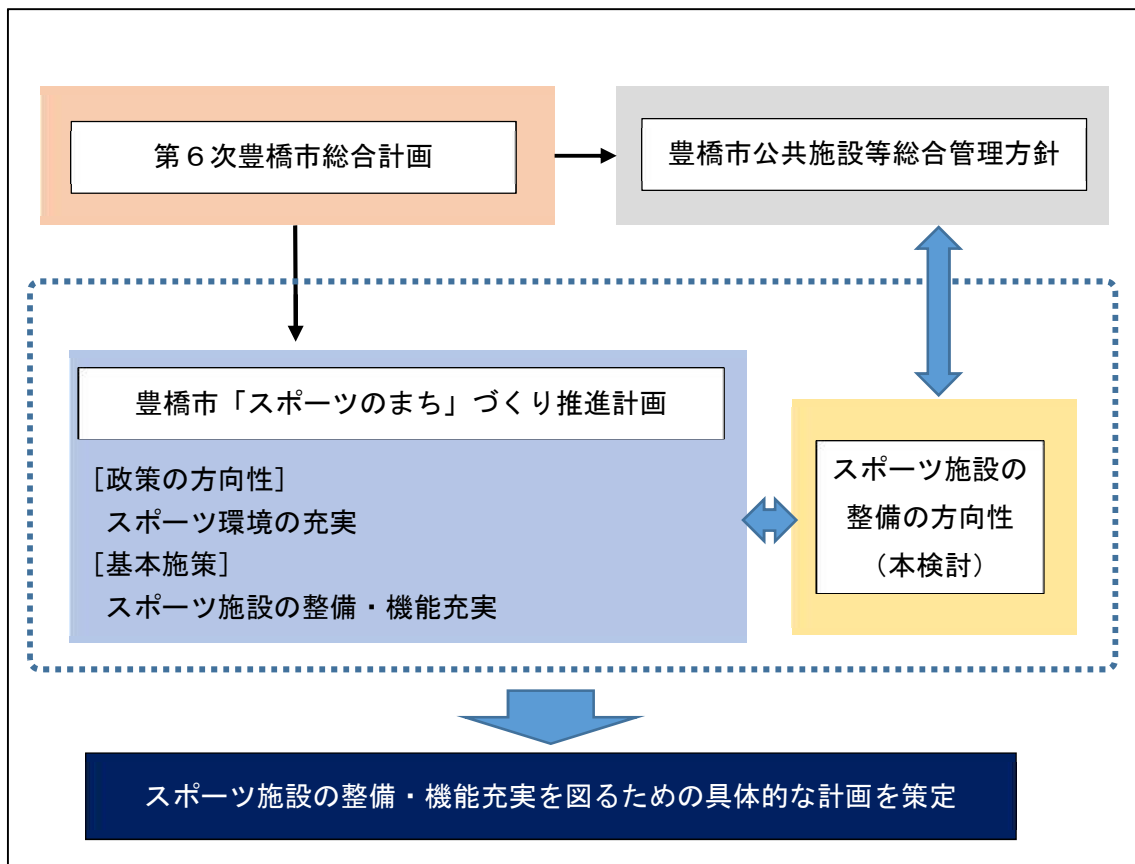
本市では2016（平成28）年度に、「豊橋市公共施設等総合管理方針」を策定しており、公共施設の維持管理や更新、統廃合、長寿命化などを総合的かつ計画的に行うことが重要としています。

スポーツ施設の統廃合の考え方としては、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方が施設を利用していますが、人口減少などによる施設利用の変化に対し状況を把握し、施設の設置目的や利用形態などを確認しつつ、建替えの場合においては複合化や廃止の検討を行う必要があるとしています。

(3) スポーツ施設の整備の方向性の位置づけ

スポーツ施設の整備の方向性は、豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画の「スポーツ施設の整備・機能充実」の内容に即して、豊橋市公共施設等総合管理方針における考え方を踏まえた今後のスポーツ施設の改修・整備の方向性を示すものであり、今後具体的な施設の整備計画を策定し、実施するための検討資料とするものです。

《本検討の位置づけ》



2 市内のスポーツ施設等の利用実態

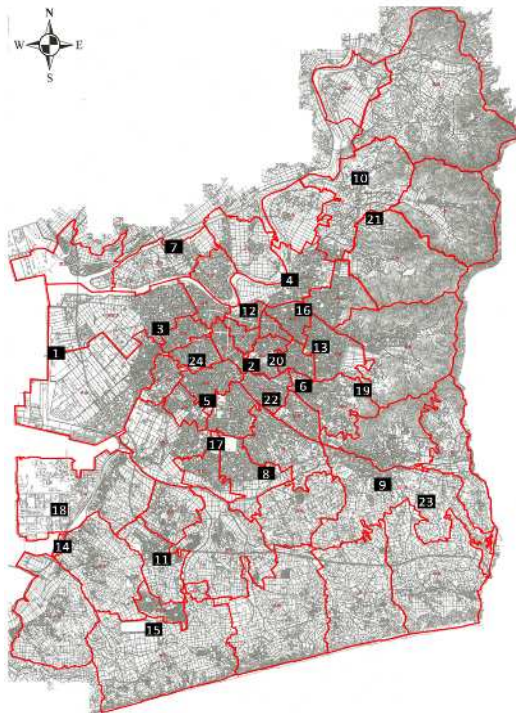
(1) スポーツ施設の概要

本市には、総合体育館、地区体育館、武道館や屋内プール・アイスアリーナなどの屋内スポーツ施設のほか、陸上競技場、市民球場、市民球技場をはじめとする数多くの屋外スポーツ施設があります。これらのスポーツ施設の多くは 1970 年代から 1990 年代前半に整備されており、開設から長い年月を経過していることから施設の老朽化が進んでいます。

《スポーツ施設の概要》

施設名	開設年	主な施設内容	施設名	開設年	主な施設内容	施設名	開設年	主な施設内容
総合体育館	1989 (H1)	屋内スポーツ全般 (第1アリーナ: バスケットボール4面、第2アリーナ: バスケットボール2面)	陸上競技場	1949 (S24)	全天候トラック (400m)、芝及び全天候フィールド	かもめ広場サッカー場	1999 (H11)	サッカー1面
前田南地区体育館	1974 (S49)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	市民球技場	1982 (S57)	サッカー場兼ラグビー場	高師緑地青少年広場	1966 (S41)	野球2面
新栄地区体育館	1975 (S50)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	硬式庭球場	1965 (S40)	テニス (全天候型) 2面	明海広場	1980 (S55)	野球2面
牛川地区体育館	1982 (S57)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	軟式庭球場	1949 (S24)	テニス (クレー) 12面	明海少年広場	1983 (S58)	少年野球3面
草間地区体育館	1984 (S59)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	市民庭球場	1981 (S56)	テニス (全天候型) 6面	高山広場	1981 (S56)	野球1面
飯村地区体育館	1985 (S60)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	万場調整池庭球場	1991 (H3)	テニス (全天候型) 4面	向山運動広場	1984 (S59)	ソフトボール1面
下五井地区体育館	1989 (H1)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	豊橋球場	1948 (S23)	野球1面	石巻運動広場	1990 (H2)	野球4面
浜道地区体育館	1990 (H2)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	東田球場	1940 (S15)	野球1面	臨海運動広場ソフトボール場	1995 (H7)	ソフトボール1面
二川地区体育館	1991 (H3)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	市民球場	1980 (S55)	野球1面	かもめ広場野球場	1999 (H11)	少年野球2面
石巻地区体育館	1992 (H4)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	高師緑地馬場	1966 (S41)	馬術	レクリエーションスポーツ広場	2001 (H13)	多目的
大清水地区体育館	1994 (H6)	屋内スポーツ全般 (バスケットボール2面)	総合スポーツ公園サッカー場	2020 (R2)	サッカー1面	二川スポーツ広場	—	多目的
武道館	1973 (S48)	柔道3面、剣道3面、弓道 (近的・遠的)、相撲1面	臨海運動広場サッカー場	1995 (H7)	サッカー1面	羽根井スポーツ広場	—	多目的
屋内プール・アイスアリーナ	2006 (H18)	水泳 (50m、25m)、アイススケート						

《スポーツ施設位置図》



- 1 総合スポーツ公園内
 - ・総合体育館
 - ・屋内プール・アイスアリーナ
 - ・総合スポーツ公園サッカー場
 - ・かもめ広場 (サッカー場・野球場)
- 2 前田南地区体育館
- 3 新栄地区体育館
- 4 牛川地区体育館
- 5 草間地区体育館
- 6 飯村地区体育館
- 7 下五井地区体育館
- 8 浜道地区体育館
- 9 二川地区体育館
- 10 石巻地区体育館
- 11 大清水地区体育館
- 12 豊橋公園内
 - ・武道館
 - ・陸上競技場
 - ・硬式庭球場
 - ・軟式庭球場
 - ・豊橋球場
- 13 岩田運動公園内
 - ・市民球技場
 - ・市民庭球場
 - ・市民球場
- 14 臨海運動広場
 - ・サッカー場
 - ・ソフトボール場
- 15 万場調整池庭球場
- 16 東田球場
- 17 高師緑地青少年広場、高師緑地馬場
- 18 明海広場、明海少年広場
- 19 高山広場
- 20 向山運動広場
- 21 石巻運動広場
- 22 レクリエーションスポーツ広場
- 23 二川スポーツ広場
- 24 羽根井スポーツ広場

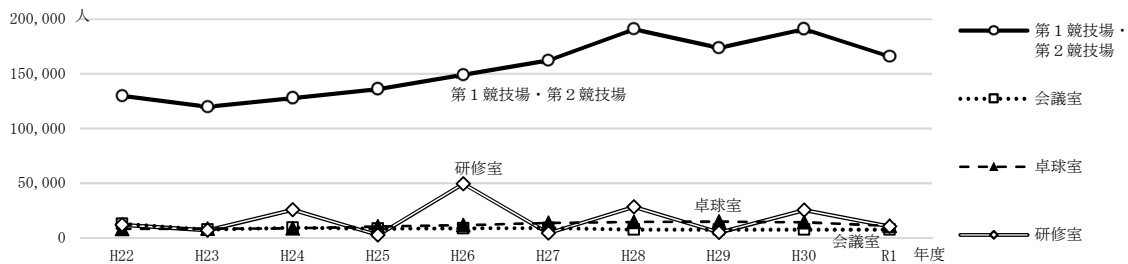
(2) スポーツ施設の利用状況

■過去10年間の利用者数とその傾向

①総合体育館

施設全体の利用者数は2010（平成22）年度から2013（平成25）年度までは150,000人前後で推移していましたが、2014（平成26）年度以降200,000人を超えるなど増加の傾向がみられます。

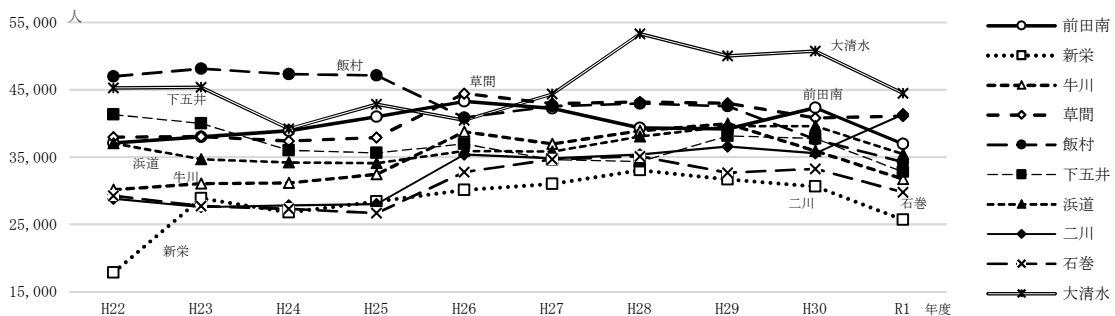
《総合体育館の利用者数の年度別推移》



②地区体育館

地区体育館10館全体の利用者数は、2016（平成28）年度に393,626人と過去最高の利用実績となりましたが、その後減少に転じています。個々にみると、それぞれ毎年約30,000人～50,000人の実績で推移しています。

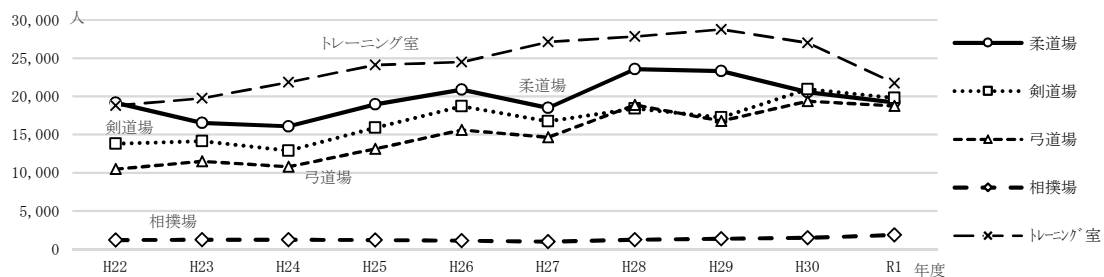
《地区体育館利用者数の年度別推移》



③武道館

施設全体の利用者数は2010（平成22）年度以降60,000人台で推移していましたが、2013（平成25）年度以降増加に転じており、2016（平成28）年度以降は90,000人に近い利用者数で推移しています。

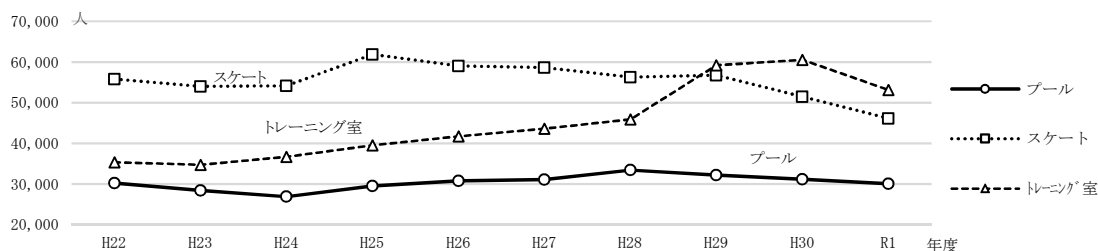
《武道場利用者数の年度別推移》



④屋内プール・アイスアリーナ

施設全体の利用者数は2010（平成22）年度から2012（平成24）年度までは120,000人前後で推移していましたが、2013（平成25）年度以降増加の傾向がみられます。

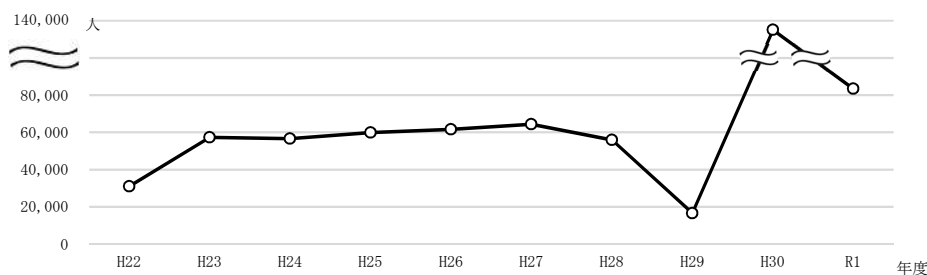
《屋内プール・アイスアリーナ利用者数の年度別推移》



⑤陸上競技場

走路張替工事が行われた2010（平成22）年度やスタンド改修工事等が実施された2016（平成28）年度、2017（平成29）年度を除き、陸上競技場の利用者は増加傾向にあります。特に、2018（平成30）年3月のリニューアル後はコンディショニングルームなど新たな機能が加わったことで利用者が大幅に増加しています。

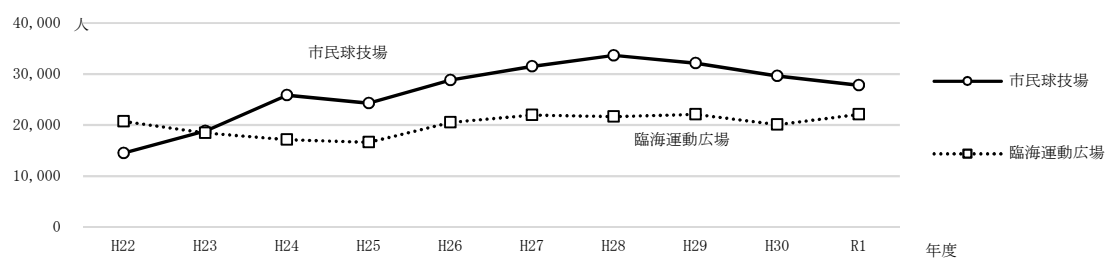
《陸上競技場利用者数の年度別推移》



⑥サッカー・ラグビー場

各施設の利用者数は2010（平成22）年度から比べて増加傾向が見られます。2019（令和元）年度には総合スポーツ公園に新たに人工芝サッカー場を整備したことで、利用者の更なる増加が見込まれます。

《サッカー・ラグビー場利用者数の年度別推移》

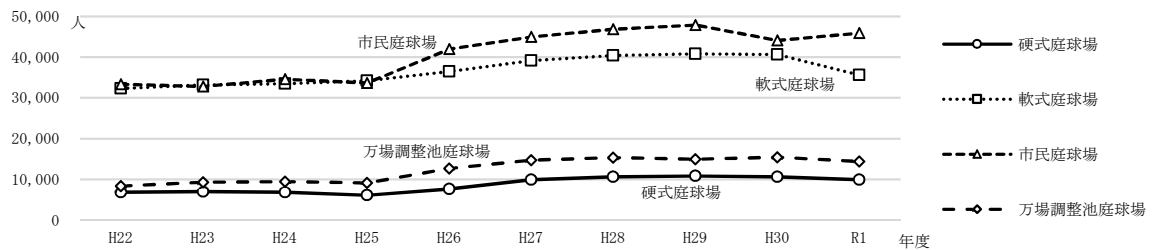


※総合スポーツ公園サッカー場、かもめ広場サッカー場については、利用者数の統計がないため掲載していません。
 ※臨海運動広場の利用者数についてはサッカー場とソフトボール場を合わせた数値です。

⑦テニスコート

各施設に整備されている面数に応じた利用者数の違いがみられますが、各施設の利用者数は2010（平成22）年度以降増加の傾向が見られます。

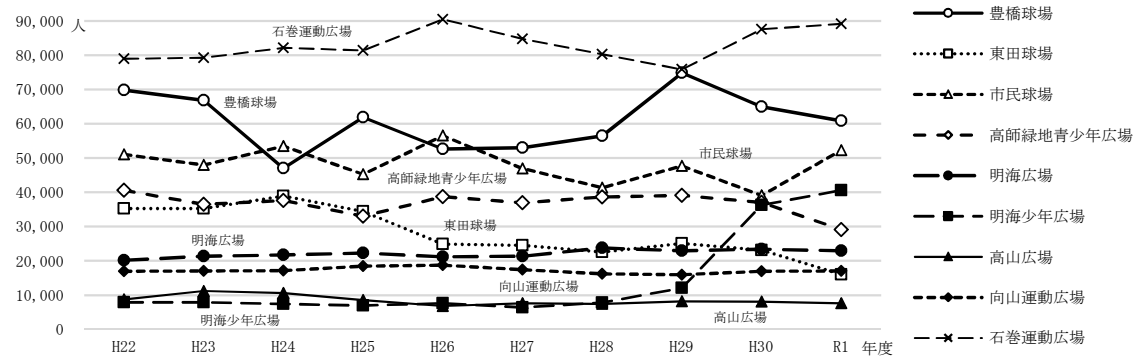
《テニスコート利用者数の年度別推移》



⑧野球・ソフトボール場

各施設に整備されている面数に応じた利用者数となっています。

《野球・ソフトボール場利用者数の年度別推移》



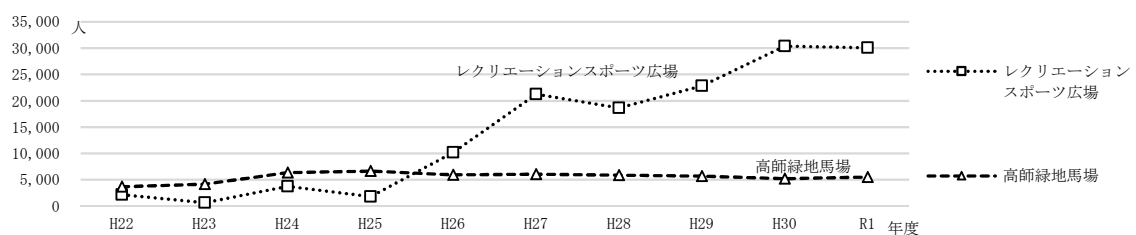
※かもめ広場野球場については、利用者数の統計がないため掲載していません。

※臨海運動広場についてはサッカー・ラグビー場に記載しています。

⑨多目的運動広場、その他施設

レクリエーションスポーツ広場は、2014（平成26）年度以降増加の傾向にあり、2018（平成30）年度以降では30,000人を超えています。高師緑地馬場は、2013（平成25）年度をピークとして増加していましたが、その後減少傾向にあり、ここ数年は5,000人台で推移しています。

《多目的運動広場、その他施設利用者数の年度別推移》



※二川スポーツ広場、羽根井スポーツ広場については、利用者数の統計がないため掲載していません。

■スポーツ施設の稼働率

総合体育館では第1競技場の平日の稼働率は3～5割程度で推移していますが、土日・祝日の稼働率は8～9割程度で推移しています。また、前田南地区体育館など平日の夜間の稼働率が9割を超える地区体育館も複数みられます。一方、武道館では施設全体の稼働率が平日で1割未満となっており、土日・祝日においても3割に満たない数値で推移しています。個々の諸室の稼働率においては、柔道場の土日・祝日は約6割程度となっていますが、それ以外は約4割かそれに満たない状況となっています。

市民球技場では、土日・祝日の稼働率が増加しており、2018（平成30）年度、2019（令和元）年度では8割を超えています。

《スポーツ施設の稼働率》

屋内スポーツ施設名	2015年度				2018年度				2019年度			
	平日 (全日)	平日 (夜間のみ)	土日・ 祝日	全体	平日 (全日)	平日 (夜間のみ)	土日・ 祝日	全体	平日 (全日)	平日 (夜間のみ)	土日・ 祝日	全体
総合体育館 (※会議室、研修室含む)	23.2%	33.9%	56.1%	35.7%	33.7%	41.7%	59.7%	43.4%	30.1%	36.8%	58.2%	40.3%
第1競技場	30.9%	39.3%	80.9%	49.9%	45.8%	53.9%	87.5%	61.4%	39.0%	39.5%	80.2%	53.9%
第2競技場	35.3%	65.4%	75.9%	50.8%	43.6%	65.0%	72.9%	54.5%	36.9%	62.4%	70.1%	48.9%
前田南地区体育館	94.6%	96.3%	91.6%	93.5%	95.2%	95.9%	94.5%	94.9%	91.1%	91.8%	88.6%	90.2%
新栄地区体育館	67.4%	95.0%	90.2%	76.0%	65.6%	97.2%	89.4%	74.5%	61.7%	91.3%	82.5%	69.5%
牛川地区体育館	81.2%	89.0%	88.0%	83.8%	85.4%	88.6%	89.7%	87.0%	77.9%	80.3%	81.0%	79.0%
草間地区体育館	86.8%	90.3%	89.9%	88.0%	90.3%	95.9%	90.3%	90.3%	84.4%	88.7%	85.5%	84.8%
飯村地区体育館	83.5%	96.6%	89.7%	85.9%	75.6%	99.2%	94.8%	82.8%	71.9%	90.5%	84.8%	76.7%
下五井地区体育館	51.8%	91.1%	88.9%	65.9%	50.6%	94.0%	91.3%	65.8%	56.2%	91.8%	81.5%	65.6%
二川地区体育館	58.6%	88.5%	89.0%	70.2%	59.1%	86.0%	89.7%	70.5%	65.1%	73.8%	82.0%	71.4%
浜道地区体育館	85.4%	90.6%	92.0%	87.9%	88.7%	95.1%	92.3%	90.0%	83.1%	87.2%	85.8%	84.1%
石巻地区体育館	50.6%	90.1%	86.5%	64.2%	59.2%	83.9%	90.0%	70.7%	52.6%	85.6%	78.2%	62.2%
大清水地区体育館	73.6%	85.1%	86.5%	78.5%	64.0%	92.0%	91.9%	74.4%	55.6%	78.2%	82.0%	65.4%
武道館	4.5%	6.0%	28.4%	13.6%	3.8%	5.6%	28.7%	13.0%	6.0%	9.6%	25.0%	13.4%
柔道場	10.3%	22.0%	66.1%	31.5%	11.2%	21.8%	66.7%	31.7%	8.4%	19.3%	58.3%	27.8%
剣道場	6.5%	1.6%	40.2%	19.3%	3.1%	0.5%	31.6%	13.6%	17.6%	23.5%	28.3%	21.8%
弓道場(近的・遠的)	2.4%	2.6%	16.1%	7.6%	2.2%	2.6%	19.5%	8.6%	1.8%	2.4%	15.7%	7.2%
相撲場	1.0%	1.0%	3.7%	2.1%	0.5%	0.5%	6.2%	2.6%	0.2%	0.5%	7.0%	2.8%
屋外スポーツ施設名	2015年度				2018年度				2019年度			
	平日 (全日)	平日 (夜間のみ)	土日・ 祝日	全体	平日 (全日)	平日 (夜間のみ)	土日・ 祝日	全体	平日 (全日)	平日 (夜間のみ)	土日・ 祝日	全体
陸上競技場	44.7%	63.9%	69.8%	54.2%	10.7%	6.6%	37.1%	20.5%	8.6%	7.3%	31.1%	17.2%
市民球技場	6.8%	-	79.2%	35.2%	6.6%	-	82.8%	35.7%	5.4%	-	82.8%	35.9%
豊橋球場	50.3%	63.4%	73.2%	59.0%	56.6%	75.1%	79.1%	65.0%	47.8%	69.6%	65.0%	54.4%
東田球場	34.7%	22.0%	63.8%	45.8%	28.0%	20.2%	61.4%	40.5%	18.3%	1.0%	49.4%	29.6%
市民球場	26.1%	19.4%	70.9%	42.6%	17.3%	11.5%	70.0%	36.5%	28.2%	24.3%	68.8%	42.2%

*表の見方

- ・稼働率の計算方法 年間利用回数 / 年間利用可能回数
- ・施設の利用可能時間 午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00 夜間 17:00～21:00
(※陸上競技場、豊橋球場、東田球場の夜間利用は18:00～21:00)

※ 公共施設白書にて稼働率が掲載されている施設のみ記載しています。

※ 施設予約システムによる団体利用のみの稼働率のため、各施設における個人利用実績は含まれていません。

※ 市民球技場は夜間利用が行われていないため、平日夜間の稼働率は算出していません。

(3) 学校体育施設の開放状況

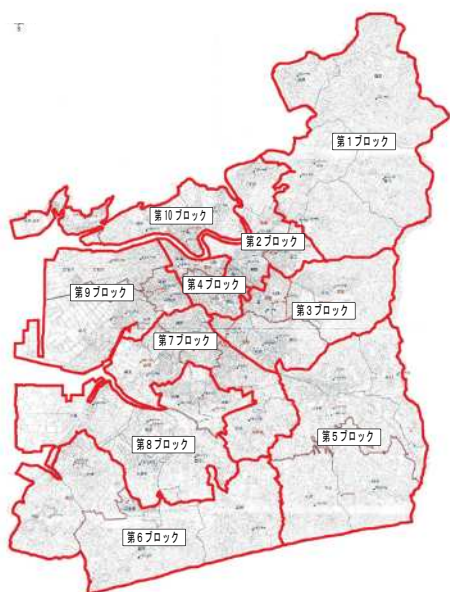
豊橋市立小中学校及び特別支援学校などでは学校体育施設開放事業を実施しています。体育館における稼働率の平均は5～6割程度、武道場における稼働率の平均は3～4割程度となっています。

また、運動場における稼働率の平均は3割程度となっています。運動場は屋外のため天候に左右されやすく、荒天時には利用されないことから、稼働率が体育館と比較して低くなっていることが考えられます。

《学校開放施設の稼働率》

ブロック名	校区名	体育館			武道場			運動場		
		2015年度	2018年度	2019年度	2015年度	2018年度	2019年度	2015年度	2018年度	2019年度
第1ブロック	石巻、西郷、玉川、嵩山、賀茂	59.2%	53.3%	49.0%	28.2%	13.8%	15.2%	35.5%	20.0%	25.2%
第2ブロック	東田、旭、牛川、下条、鷹丘	73.1%	65.7%	47.2%	34.8%	35.6%	33.0%	42.8%	50.3%	52.7%
第3ブロック	岩田、豊、多米、岩西、つつじが丘、飯村	65.8%	64.8%	60.3%	53.0%	52.0%	43.7%	41.3%	43.2%	39.5%
第4ブロック	八町、松葉、松山、新川、向山	57.2%	57.1%	56.2%	33.7%	36.0%	34.8%	44.7%	32.7%	33.0%
第5ブロック	二川、二川南、谷川、小沢、細谷	55.5%	48.1%	49.6%	28.7%	15.3%	11.3%	21.5%	20.9%	16.4%
第6ブロック	富士見、高根、老津、杉山、豊南	60.0%	59.3%	53.0%	52.3%	45.2%	45.3%	35.2%	32.1%	39.7%
第7ブロック	福岡、栄、中野、磯辺、天伯、幸	70.4%	64.7%	52.4%	49.2%	36.5%	37.3%	38.8%	36.6%	34.7%
第8ブロック	高師、芦原、大崎、植田、野依、大清水	54.3%	54.8%	52.1%	43.2%	27.5%	37.8%	27.8%	25.9%	32.4%
第9ブロック	花田、羽根井、吉田方、牟呂、汐田	73.8%	66.3%	65.3%	19.3%	26.1%	29.0%	41.4%	29.5%	34.0%
第10ブロック	下地、大村、津田、前芝	63.6%	64.1%	51.9%	39.4%	44.6%	38.5%	23.3%	20.0%	23.3%
	平均	63.3%	59.8%	53.7%	38.2%	34.8%	32.6%	35.2%	31.6%	33.1%

《ブロック位置図》



※1 稼働率の計算方法

年間利用回数／年間利用可能回数

- ・分割して利用できる施設については、年間利用回数／年間利用可能回数が100%を上回る場合、同時に2団体利用していると仮定し稼働率100%として計算

※2 学校体育施設の利用可能時間

(1) 体育館・武道場

平日 夜間のみ 18：00～22：00
(5～7月は18：30～)
土日・祝日 午前 9：00～12：00
午後 13：00～17：00
夜間 18：00～22：00
(5～7月は18：30～)

(2) 運動場

平日 夜間のみ 日没～21：00
土日・祝日 日出～21：00

3 利用者アンケート調査

(1) 利用者アンケート調査概要

既設のスポーツ施設の実態や傾向をつかみ、今後のスポーツ施設の整備の方向性を検討する際の参考とするため、施設利用者に対してアンケート調査を行いました。

《利用者アンケート調査概要》

項目	団体アンケート	個人アンケート
調査期間	2019（令和元）年5月17日（金）から2019（令和元）年7月31日（水）まで （総合体育館、地区体育館、武道館） 2019（令和元）年12月6日（金）から2020（令和2）年2月28日（金）まで （屋外スポーツ施設、屋内プール・アイスアリーナ、武道館） ※武道館については団体アンケートが少なかつたため、追加で実施	
調査方法	施設利用者（団体代表者及び個人）を対象に紙アンケート	
調査内容	■利用実態 ・利用目的（種目） ・利用頻度 ・利用する曜日・時間帯 ・実際の活動時間	■立地状況 ・施設への来場手段 ・施設の広域性及び拠点性 （施設利用者の居住地と利用施設場所との関連性） ■利用料金 ・現在の利用料金に対する意識 ・今後の利用料金に対する考え方 ■満足度 ・サービス面での印象 ■利用者ニーズ ・今後のスポーツ施設に期待すること
回答数 （内訳）	768 【屋内スポーツ施設】 総合体育館及び地区体育館 346 武道館 27 屋内プール・アイスアリーナ 13 【屋外スポーツ施設】 陸上競技場 27 サッカー・ラグビー場 50 テニス場 93 野球・ソフトボール場 164 多目的運動広場、その他施設 48	7,112 【屋内スポーツ施設】 総合体育館及び地区体育館 1,980 武道館 165 屋内プール・アイスアリーナ 368 【屋外】 陸上競技場 861 サッカー・ラグビー場 506 テニス場 963 野球・ソフトボール場 1,533 多目的運動広場、その他施設 736

4 利用実態及び利用者アンケート調査のまとめ

(1) 利用実態の分析結果

利用実態の分析結果を以下にまとめました。

《実態調査による分析結果》

施設種別	スポーツ施設の概要	過去10年間の利用者数とその傾向	スポーツ施設の稼働率
屋内スポーツ施設	・多くの施設は1970年代から1990年代前半に整備されており、武道館や前田南地区体育館、新栄地区体育館は開設から30年以上経過しています。	・総合体育館では三遠ネオフェニックスのホームゲームが増加したこともあり、ここ数年利用者数が増加傾向にあります。	・総合体育館や地区体育館の平日の稼働率は5割程度の施設もありますが、土日・祝日の稼働率は8～9割程度で推移しています。
屋外スポーツ施設	・多くの施設は開設から30年以上経過しており、東田球場、豊橋球場、軟式庭球場など開設から60年以上経過している施設もみられます。	・多くの施設は利用者数が増加傾向もしくは横ばい状態にあります。	・市民球技場の平日の稼働率は1割を満たさない程度となっていますが、土日・祝日の稼働率は8割を超えています。

- スポーツ施設の概要 ⇒ 施設の老朽化が進んでいます
- 過去10年間の利用者数とその傾向 ⇒ 利用者数は増加傾向にあります
- スポーツ施設の稼働率 ⇒ 利用時間・曜日によっては、利用の過密化がみられる施設があります

(2) 利用者アンケート調査の分析結果

利用者アンケート調査の分析結果を以下にまとめました。

《利用者アンケート調査による分析結果（団体アンケート）》

施設種別	利用目的（種目）	利用頻度	利用する曜日・時間帯	実際の活動時間
屋内スポーツ施設	・総合体育館、地区体育館では様々な屋内スポーツが実施されており、武道館と屋内プール・アイスアリーナでは施設の設置目的に沿った種目を中心に利用されています。	・地区体育館や武道場では週1回が最も多く、全体的にリピーター利用が多い傾向がみられます。	・総合体育館や武道館では休日午前の利用が多く、地区体育館では平日夜間の利用が多い傾向にあります。	・午前3時間、午後4時間、夜間4時間の利用時間区分で運用していますが、利用者の実際の活動時間は、2時間以下の利用が3割を超えていること、さらには2時間程度の短時間の利用を求める個別の意見もあるなど、短い時間の利用ニーズがあることが明らかになりました。
屋外スポーツ施設	・それぞれの施設において、施設の設置目的に沿った種目を中心に利用されています。	・競技種目によりばらつきがみられます。テニス場や多目的運動広場では週2～3回の利用が多い傾向にあります。	・休日の午前中に利用が集中する傾向が見られます。多目的運動広場では平日午前の利用が多くみられます。	・2時間以上の利用が中心となっています。サッカー場や野球・ソフトボール場では4時間以上の利用も多くみられます。

- 利用目的（種目） ⇒ 設置目的に合った利用がされています
- 利用頻度、利用する曜日・時間帯 ⇒ 利用者にはリピーターが多い傾向にあります
- 実際の活動時間 ⇒ 屋内スポーツ施設ではきめ細かな利用時間区分を望む声がみられます

《利用者アンケート調査による分析結果（個人アンケート）》

施設種別	立地状況	利用料金	満足度	利用者ニーズ
屋内スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館や武道館のような広域性・拠点性の高い施設と、地区体育館のように施設から近くに居住する住民の利用が比較的多い施設に分けられます。しかしながら、地区体育館においても、施設から2km圏内に含まれない校区の利用者が多い実態があることや、車で利用が多いことから一定の広域性があると考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の施設の利用料金については、総合体育館では約8割、地区体育館では約6割、武道館では約5割を超える利用者、そして、屋内プール・アイスアリーナでは約9割の利用者が「割安感」「妥当感」を感じています。 今後の利用料金については、「値上げは仕方ない」の回答が全体の約2～3割程度みられました。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設サービスでは、「期待以上だった」「概ね期待どおりだった」が大半を占め、多くの人が施設サービスに一定の満足感を得ています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後のスポーツ施設に期待することでは、「スポーツをするのに綺麗で快適な環境」の割合が最も高く、次いで「とにかく安い利用料金」となっています。「駐車場やスポーツ機材などハード面の充実」の意見も多く、安価な料金よりも快適な環境整備を期待する声が多くみられました。 「割高感」を利用者が感じているテニス場においても「とにかく安い利用料金（約54%）」より「スポーツをするのに綺麗で快適な環境（約83%）」が上回っていました。
屋外スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> 施設までの移動手段は、多くの施設において「自動車」を利用している割合が高くなっています。自動車での利用が大半を占める施設の利用者からは、駐車場を増設してほしい、きれいに整備してほしいといった声もみられます。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の施設の利用料金については、「割安感」「妥当感」を感じている人の割合が陸上競技場では約7割、サッカー・ラグビー場や野球・ソフトボール場では約8割、多目的運動広場、その他施設では約9割を超えています。 今後の利用料金については、「値上げは仕方ない」の回答が全体の約2～3割程度みられました。 	<ul style="list-style-type: none"> 概ねの施設は8割を超える利用者が「期待以上だった」「概ね期待どおりだった」と回答しており、一定の満足感を得ています。 	



- 立地状況 ⇒ 利用者の移動手段は車が多く、駐車場の確保や整備を求める意見が多くみられます
スポーツ施設は広域性の高い施設と考えられます
- 利用料金 ⇒ 今の利用料金に対して、概ねの施設は「割安感」「妥当感」を感じています
利用料金の値上げは仕方ないとする方もみられます
- 満足度 ⇒ 今の施設サービスには概ね「期待通り」と感じる一方、質の充実を求める意見も多くみられます
- 利用者ニーズ ⇒ 今後は料金の安さよりも施設の質の充実が求められます

5 スポーツ施設の整備の方向性

(1) 基本的な考え方

屋内スポーツ施設は実施可能なスポーツ種目が多く、子どもから高齢者まで多くの方がさまざまなスポーツに親しむ場所として利用されています。また、屋外スポーツ施設はサッカーや野球など種目が特定される施設と多目的に利用されている広場があり、若者を中心に個々の目的に応じてスポーツに親しむ場所として利用されています。

特に、今回の利用者アンケートから、現在のスポーツ施設は「する」スポーツの場として、快適な環境や利便性を求める意見が大変多く、将来のスポーツ施設には、こうした質の向上や充実といったニーズへの対応が求められています。また、スポーツを取り巻く環境の変化や価値観が多様化していく中で、さまざまなニーズに対応し、年齢や性別、障害の有無に関わらず、いつでも、どこでも、誰でもスポーツを気軽に楽しめ、スポーツを身近に感じることができる環境を整えていくことが必要と考えています。

一方で、人口減少時代に入り厳しい財政状況の中、持続可能な都市経営を行っていく上で、スポーツ施設の質の向上・充実を図りながら、これまで通りの量を維持していくことは困難な時代が到来しております。

こうした状況下においても、**将来にわたって市民の誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境を確保し生涯スポーツの振興を図っていくため、次の考え方に沿って計画的に施設の改修や整備を行います。**

『 1. 主な広域的な施設の改修 』

市内のスポーツのほか広域的な大会が行われ、「する」スポーツの拠点となっているだけでなく、プロスポーツの興行やトップアスリートによるイベントも行われる総合体育館、屋内プール・アイスアリーナ及び市民球場については、ニーズや実態を踏まえながら、新たな時代に見合った改修を行うなど、計画的に施設の充実を図ります。

『 2. 各地域のスポーツ施設の改修 』

主な広域的な施設以外の各地域の施設については、ニーズや実態を踏まえながら、計画的な改修を行います。

また、改修や建替えの検討にあたっては、施設の安全性や機能性、経済性といった基本的な項目、さらには将来を踏まえたニーズ、交通面や周辺施設も含めた立地状況などを考慮した上で、豊橋市公共施設等総合管理方針の考え方を踏まえ、他施設との複合化や集約化などにより利便性を向上させるなど施設の充実を図ります。

『 3. 新たなスポーツ施設の整備 』

新たなスポーツ施設を整備する場合は、他施設との複合化や集約化を視野に入れた検討を行い、施設の充実を図ります。

(2) スポーツ施設の今後の方向性

■今後の取組方針

スポーツ施設に対する基本的な考え方を踏まえた今後の取組方針を下記に示します。

◇価値ある施設へと転換させます

施設の改修・建替えを行っていくにあたっては、施設の老朽化や利用状況の過密化といった課題や今後の利用見込みやニーズを踏まえ、利用者にとって利便性が高く快適にスポーツを楽しむことができる価値ある施設への転換を図ります。

○取り組み例

- ・大規模改修時における機能の見直し（空調機の導入、観覧席の導入等）
- ・誰もが使いやすい施設への転換（バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化等）
- ・施設の複合化・集約化による整備（新たなスポーツ施設の整備等）

○主な効果

- ・スポーツへのきっかけづくり・ファンづくり
- ・施設の利便性の向上による利用者の増加

◇ニーズと実態を踏まえた施設運営をします

利用者ニーズと施設運営とが合っていないものも見受けられますので、現行の運営方法を見直し利用者にとって利便性が高くなるような取り組みを進めます。

○取り組み例

- ・新たな利用料金区分の検討
- ・指定管理者制度による柔軟な施設運営
- ・有料化を含めた駐車場の管理運営の検討

○主な効果

- ・効率的な施設利用
- ・利用者の満足度向上
- ・施設利用者のための駐車場の確保

◇財源を確保し施設の充実を図ります

今後も安心・安全な施設を提供するための維持管理コストを賄うため、受益者負担に基づく施設経営を行っていきます。また、民間資金など新たな財源の積極的な活用を図るなどの財源確保に努めます。これらに加え、独立行政法人日本スポーツ振興センターが、スポーツ振興くじの収益により助成を行っているので、こういった財源を活用しながら施設の質の充実を図ります。

○取り組み例

- ・新たな財源確保
- ・施設の価値に応じた受益者負担の導入（無料施設の有料化など）

○主な効果

- ・財政負担の軽減
- ・充実した施設環境の確保

◇学校体育施設の開放による対応を促進します

スポーツ基本法第13条では「学校教育法第二条第二項に規定する国立学校及び公立学校の設置者は、その設置する学校の教育に支障のない限り、当該学校のスポーツ施設を一般のスポーツのための利用に供するよう努めなければならない」旨が規定されており、市民が気軽にスポーツをすることができる環境を整えるためにも、特に地域住民が日頃の運動のために利用できる場として、学校体育施設の開放による対応を促進します。

○取り組み例

- ・学校体育施設への誘導
- ・利用者への理解促進

○主な効果

- ・学校体育施設を含めたスポーツ施設利用率・稼働率の向上
- ・「する」スポーツ環境の確保

◇民間ノウハウを活用します

スポーツ施設については、スポーツジムやスイミング等において既に民間事業者によるビジネスが成立していることも踏まえ、民間ノウハウをさらに活用できるよう連携・共有を図るなどして、公共と民間とを含めたスポーツ環境の確保に努めます。

○取り組み例

- ・民間スポーツ施設との情報連携
- ・民間企業等スポーツ施設の活用

○主な効果

- ・ニーズに応じたスポーツ環境の確保
- ・スポーツ実施率の向上

■ 施設種別ごとの方向性

今後の取組方針を踏まえた施設種別ごとの改修・整備の方向性を下表に示します。

施設種別	方向性
①総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館は様々な種目の東三河大会が行われているほか、スポーツ以外にも展示会など多目的に利用されている施設であり、利用者は市内だけでなく市外の利用者も多く広域性が高い施設となっています。 ・現状と将来的なニーズや実態を踏まえながら、計画的に大規模改修等を行い、施設の充実を図ります。 ・大規模改修等を行う際の利用できない期間に対する代替え施設の必要性や新たな施設の必要性などについて改めて検討していきます。
②地区体育館 計 10 施設 ・前田南地区体育館 ・新栄地区体育館 ・牛川地区体育館 ・草間地区体育館 ・飯村地区体育館 ・下五井地区体育館 ・浜道地区体育館 ・二川地区体育館 ・石巻地区体育館 ・大清水地区体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の各 10 ブロックに配置されている地区体育館は、平日夜間及び土日・祝日の稼働率が高く安定的な利用が図られており、施設の維持と利便性の向上を図るための改修を計画的に行っていきます。 ・改修の検討の際には、バリアフリー化や施設利用者のための駐車場整備などにより施設の充実化を図り、特に老朽化が進んでいる施設については複合化・集約化を視野に入れた検討をしていきます。
③武道館 (柔道場・剣道場・弓道場・相撲場)	<ul style="list-style-type: none"> ・武道館は 1970 年代に建設された施設であり、老朽化が進んでいるなかでバリアフリー化も遅れています。 ・他施設との複合化・集約化を視野に入れた建替えにより、バリアフリー化や効率的な施設利用により稼働率を向上させるなど施設の充実を図ります。
④屋内プール・アイスアリーナ (アクアリーナ豊橋)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内プール・アイスアリーナは公認競泳用である東三河唯一の 50m プールを備えており東三河大会等が行われているほか、冬季においてはスケートが利用できる東三河唯一の施設でもあり、市外の利用者も多く広域性が高い施設となっています。 ・施設の維持と利便性の向上を図るための改修を計画的に行っていきます。
⑤陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場は 2016 (平成 28) ～2017 (平成 29) 年度にスタンド等の改修を実施しており、全天候舗装の 400mトラックを備えた第 3 種公認競技場となり、コンディショニングルームなど新たな機能が加わったことで利用者数が大幅に増加しています。 ・施設の維持と利便性の向上を図るための改修を計画的に行っていきます。
⑥サッカー・ラグビー場 計 4 施設 ・総合スポーツ公園 サッカー場 ・かもめ広場サッカー場 ・市民球技場 ・臨海運動広場サッカー場	<ul style="list-style-type: none"> ・観客席を備えたサッカー・ラグビー場である市民球技場は土日・祝日の稼働率が高く安定的な利用が図られています。 ・2019 (令和元) 年度には総合スポーツ公園に新たに人工芝サッカー場を整備し、新たに施設を整備したことで、利用者の更なる増加が見込まれます。 ・施設の維持と利便性の向上を図るための改修を計画的に行っていきます。 ・無料施設について、適正な受益者負担による施設の充実を図る検討をしていきます。

施設種別	方向性
⑦テニスマ場 計4施設 ・硬式庭球場 ・軟式庭球場 ・市民庭球場 ・万場調整池庭球場	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋公園や岩田運動公園をはじめとする各施設の庭球場利用者は増加傾向にあり、安定的な利用が図られています。 ・施設の維持と利便性の向上を図るための改修を計画的に行っていきます。
⑧野球・ソフトボール場 計11施設 ・豊橋球場 ・東田球場 ・市民球場 ・高師緑地青少年広場 ・明海広場 ・明海少年広場 ・高山広場 ・向山運動広場 ・石巻運動広場 ・臨海運動広場ソフトボール場 ・かもめ広場野球場	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の広範囲にわたり配置されている野球・ソフトボール施設利用者は増加傾向にありますが、利用者数が多い施設もあれば利用者数が少ない施設も見受けられます。 ・利用者数が少ない施設や施設の老朽化が進んでいる施設について、改修や建替えの検討の際には、バリアフリー化や複合化・集約化を視野に入れた検討をしていきます。 ・無料施設について、適正な受益者負担による施設の充実を図る検討をしています。
⑨多目的運動広場、その他施設 計4施設 ・レクリエーションスポーツ広場 ・二川スポーツ広場 ・羽根井スポーツ広場 ・高師緑地馬場	[多目的運動広場] <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションスポーツ広場、二川スポーツ広場や羽根井スポーツ広場はグランドゴルフやペタンクなどのニュースポーツの他に、野球やサッカーなど幅広い利用が見られます。 ・暫定的にスポーツ利用している場所であるため、適正に維持管理していきます。 [高師緑地馬場] <ul style="list-style-type: none"> ・高師緑地馬場は1960年代に建設された施設であり、老朽化が進んでいるが、馬術協会が専用利用している施設であり、利用が限定的です。 ・施設の維持・改修については、市民利用の拡大を図るなどの今後の施設の整備の方向性も含めて検討していきます。
⑩学校体育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設の体育館の稼働率は5～6割程度、武道場における稼働率は3～4割程度、運動場の稼働率は3割程度となっていることから、学校体育施設の利用促進を図っていきます。
⑪未整備エリア (総合スポーツ公園)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用目的が定まっていないエリアについて、市内のスポーツ施設の複合化や集約化も視野に入れたスポーツ施設の再配置を進める中で検討していきます。

■2021（令和3）年度以降に優先的に取り組む内容

施設種別ごとの方向性を踏まえて、順次施設の計画的な改修を進めていくとともに、次の取り組みを進めます。

- ・スポーツ施設の複合化・集約化を含めた整備計画の策定
- ・ユニバーサルデザインを意識した施設改修

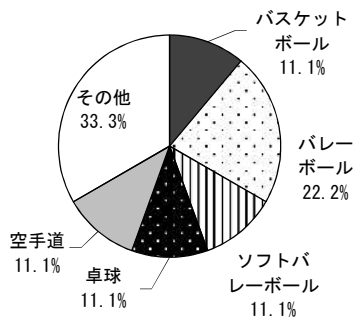
巻末資料 利用者アンケート調査結果 図表集

■ 団体アンケート結果

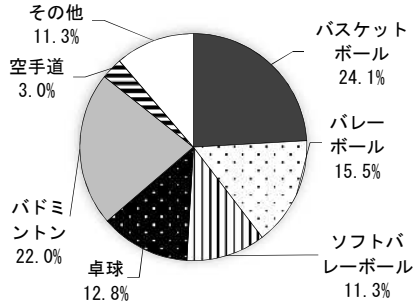
《利用目的（種目）》

※今回のアンケート調査では、無回答や指定された回答数を超えて回答した場合も有効回答として取り扱ったため、調査に協力いただいた団体又は個人の総数と、各項目の回答数が一致しない場合があります。

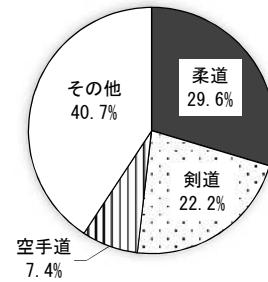
①総合体育館



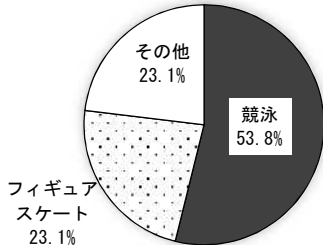
②地区体育館



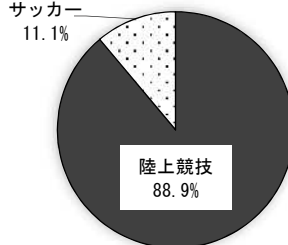
③武道館



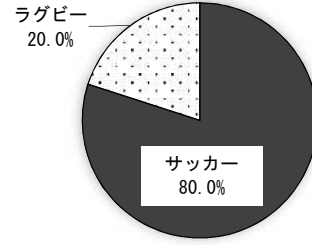
④屋内プール・アイスアリーナ



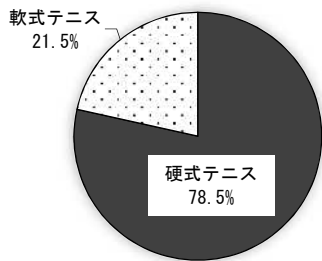
⑤陸上競技場



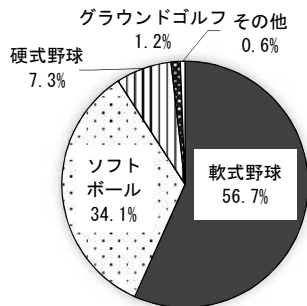
⑥サッカー・ラグビー場



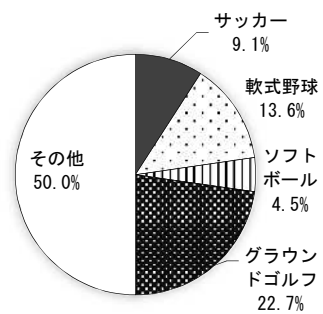
⑦テニスコート



⑧野球・ソフトボール場

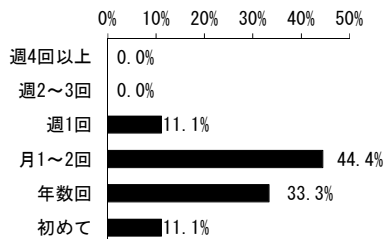


⑨多目的運動広場、その他施設

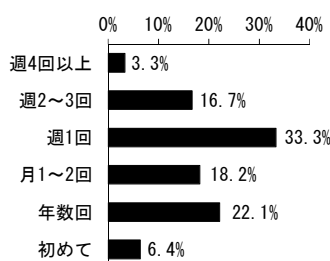


《利用頻度》

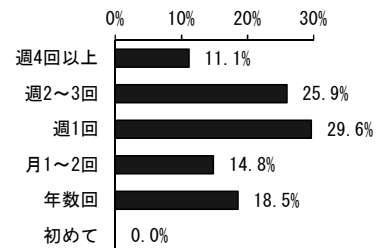
①総合体育館

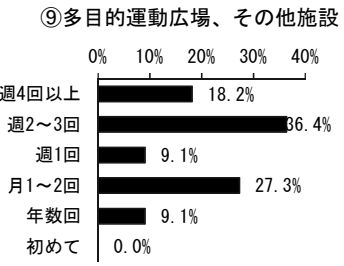
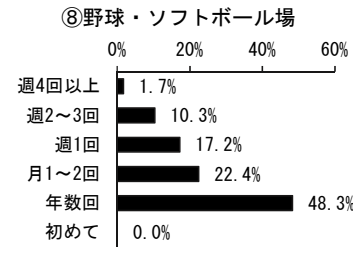
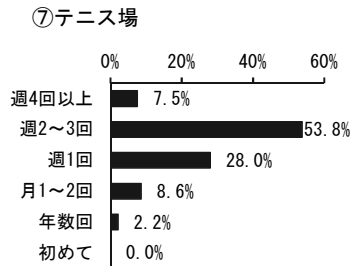
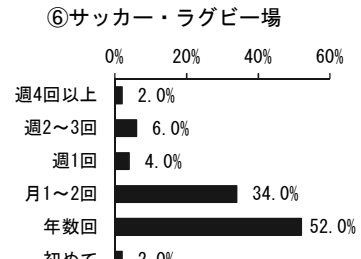
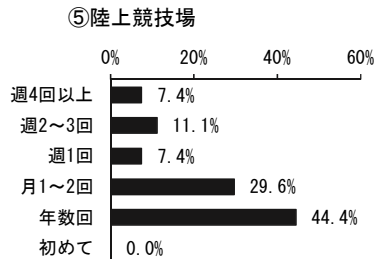
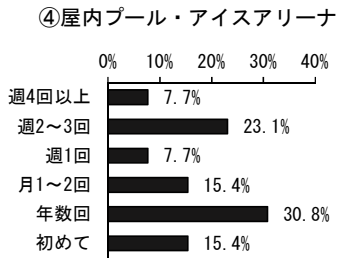


②地区体育館

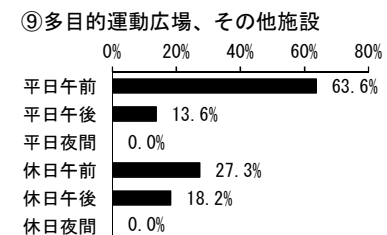
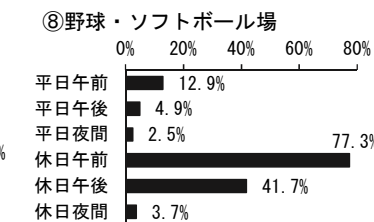
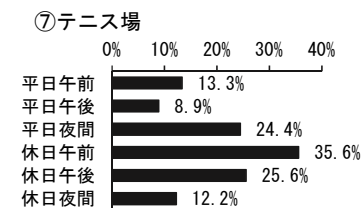
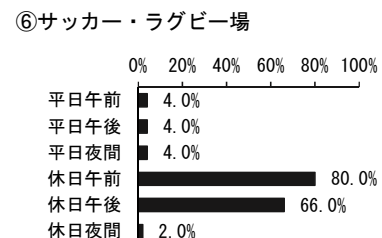
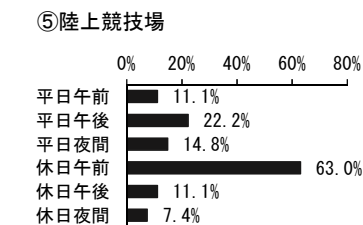
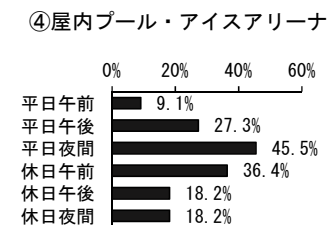
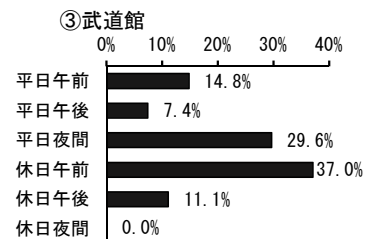
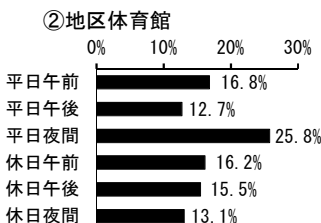
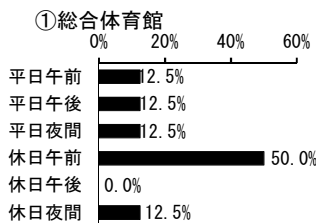


③武道館

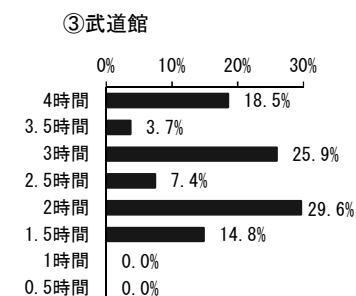
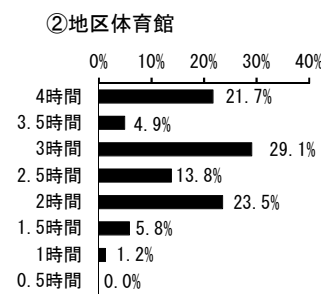
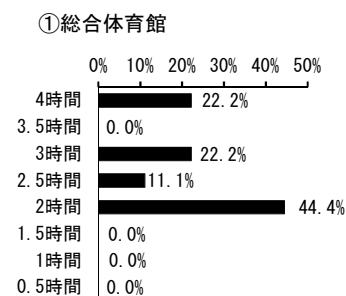


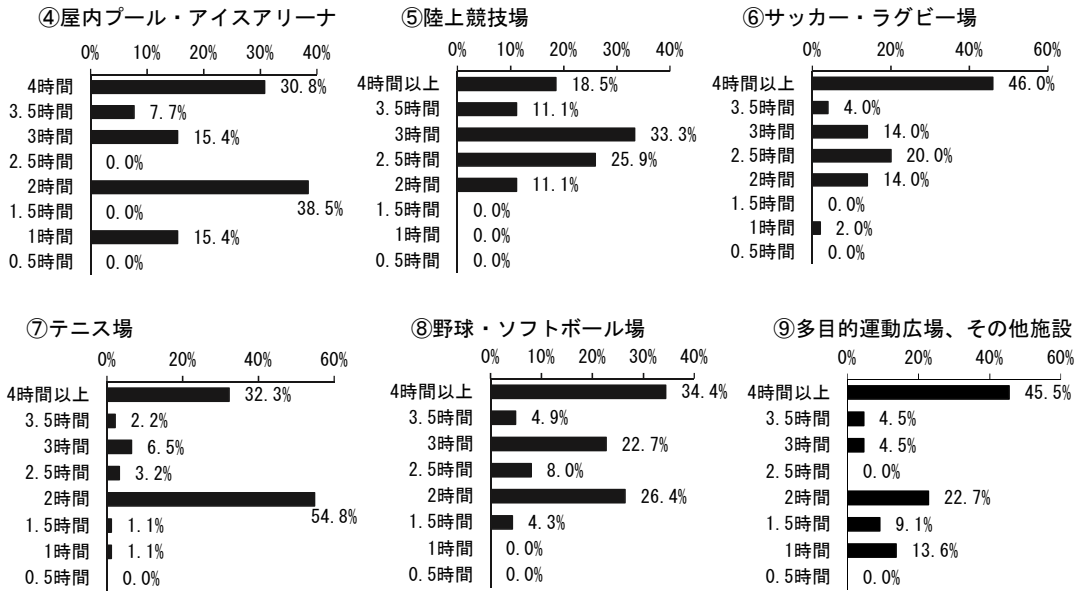


《利用する曜日・時間帯》



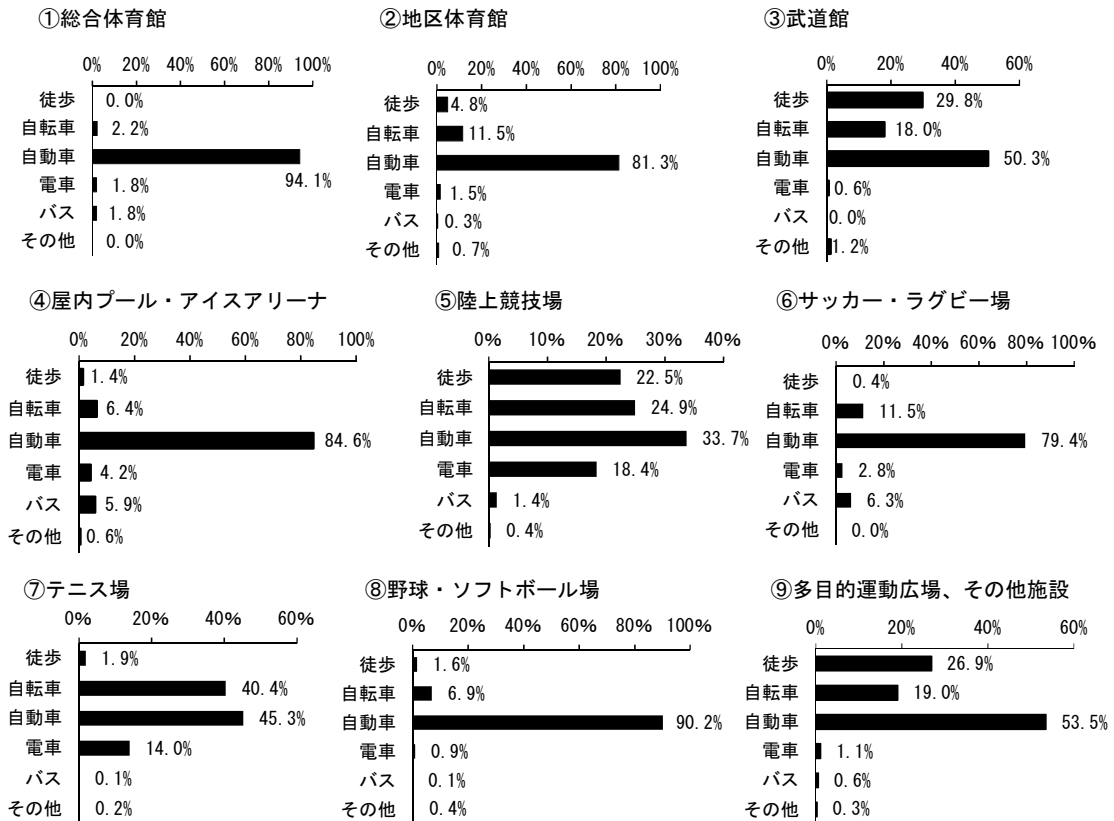
《実際の活動時間》



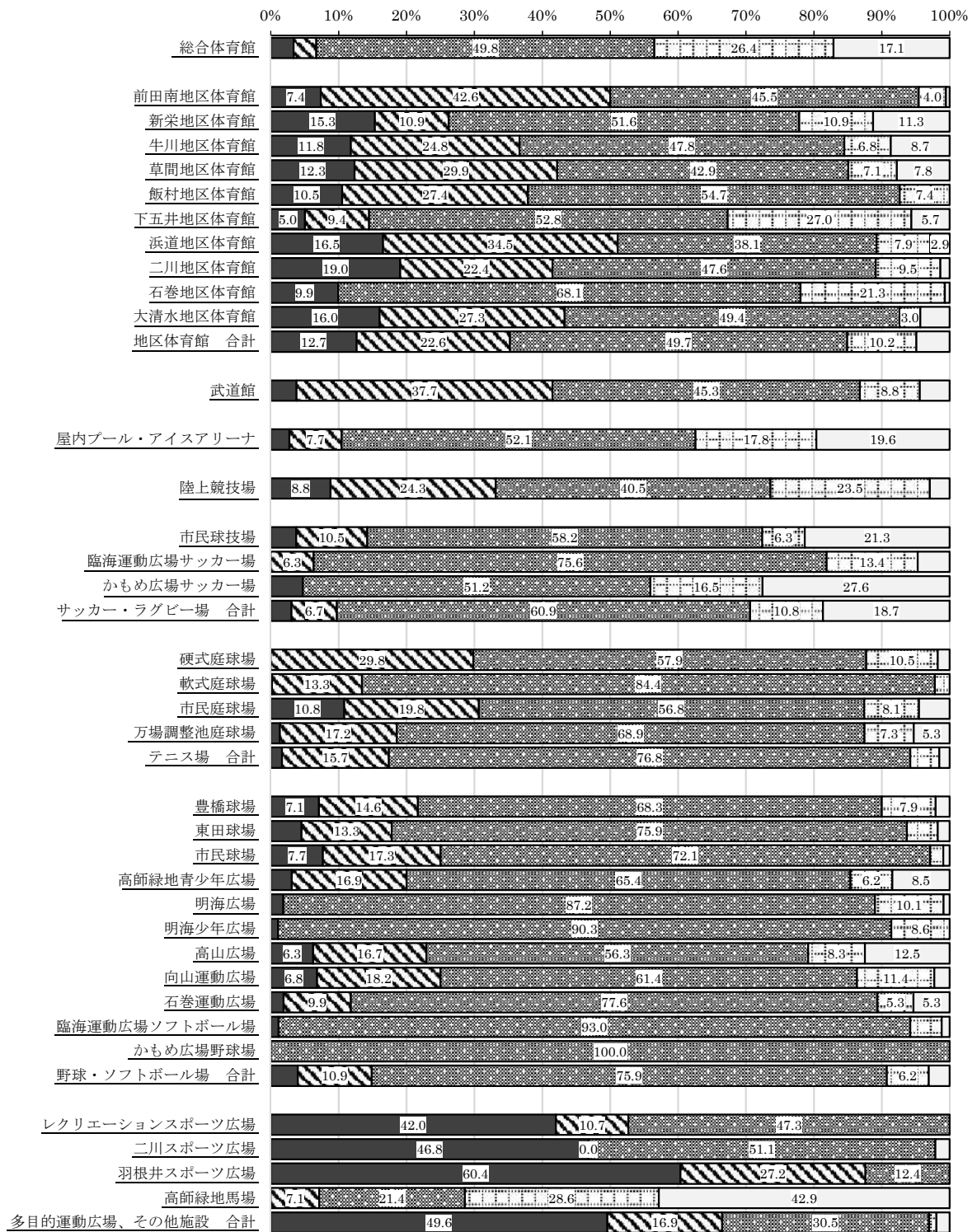


■ 個人アンケート結果

◀ 立地状況（施設への来場手段） ▶






《立地状況（施設の広域性及び拠点性）》



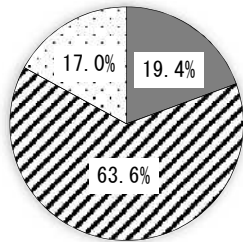
【区分の考え方（凡例）】

- 施設がある校区
- ▨ 施設から2km圏内に含まれる地域が約半分以上の校区
- ▤ その他の校区（2km圏内に含まれない校区）
- ▧ 近隣市（豊川市、蒲郡市、新城市、田原市）
- その他の市町村

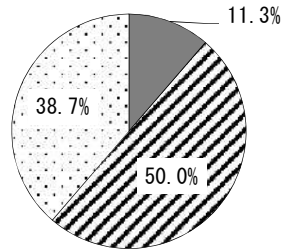
《利用料金（現在の利用料金に対する意識）》

- 【凡例】
-  施設の機能・サービスの面を鑑みると利用料金は安いと感じている
 -  概ね妥当な利用料金だと感じている
 -  施設の機能・サービスの面を鑑みると利用料金は高いと感じている

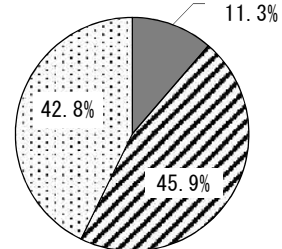
①総合体育館



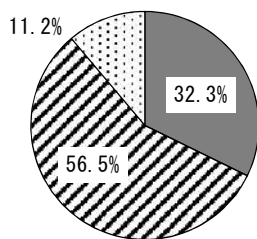
②地区体育館



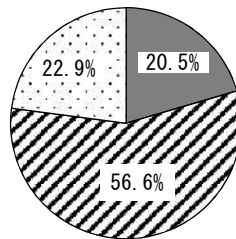
③武道館



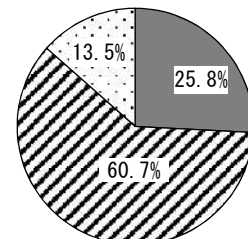
④屋内プール・アイスアリーナ



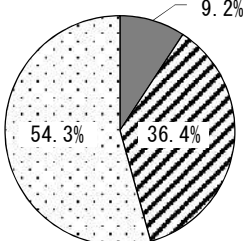
⑤陸上競技場



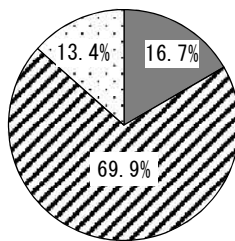
⑥サッカー・ラグビー場



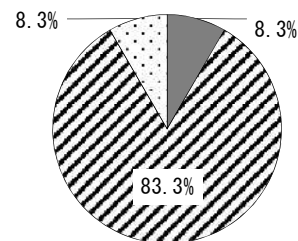
⑦テニスコート






⑧野球・ソフトボール場



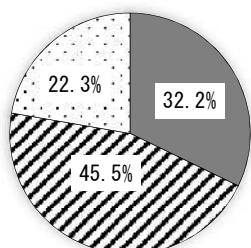
⑨多目的運動広場、その他施設



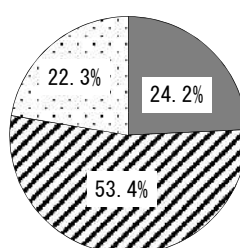
《利用料金（今後の利用料金に対する考え方）》

- 【凡例】
-  ある程度利用料金の値上げは仕方ない
 -  今の利用料金体系（無料を含む）を維持してほしい
 -  わからない

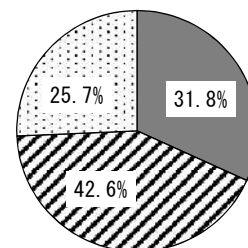
①総合体育館



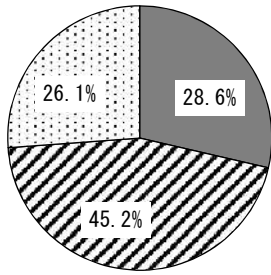
②地区体育館



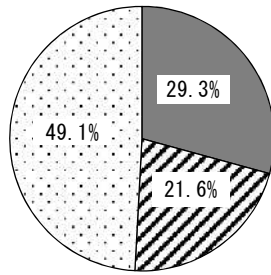
③武道館



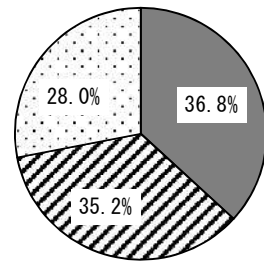
④屋内プール・アイスアリーナ



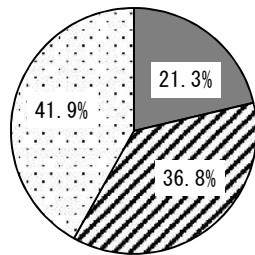
⑤陸上競技場



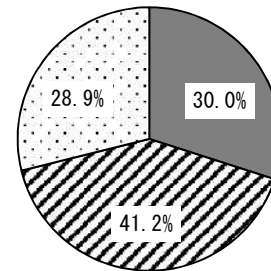
⑥サッカー・ラグビー場



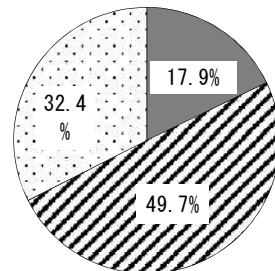
⑦テニスコート



⑧野球・ソフトボール場



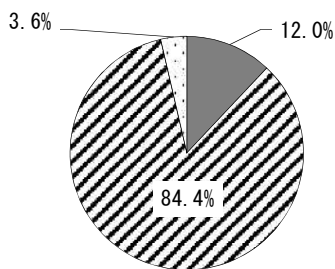
⑨多目的運動広場、その他施設



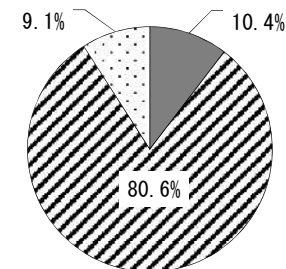
《満足度（サービス面での印象）》

- 【凡例】
- 期待以上だった
 - 概ね期待どおりだった
 - 期待以下だった

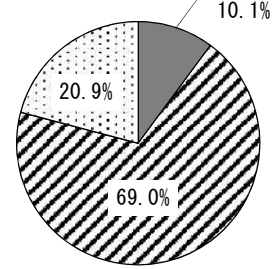
①総合体育館



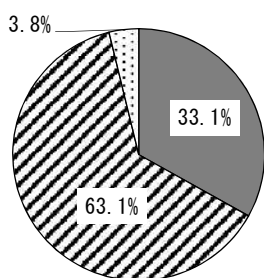
②地区体育館



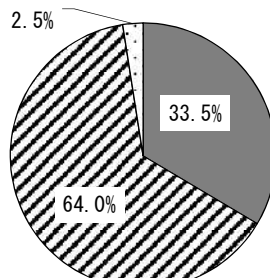
③武道館



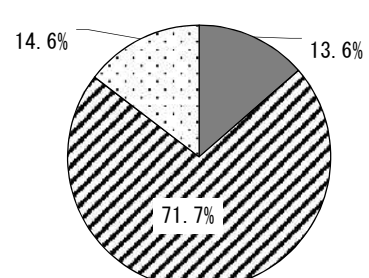
④屋内プール・アイスアリーナ



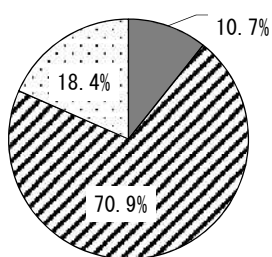
⑤陸上競技場



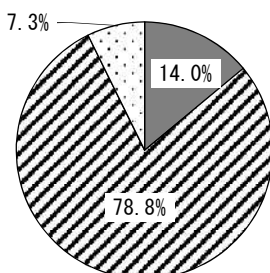
⑥サッカー・ラグビー場



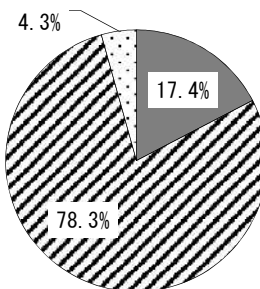
⑦テニスコート



⑧野球・ソフトボール場



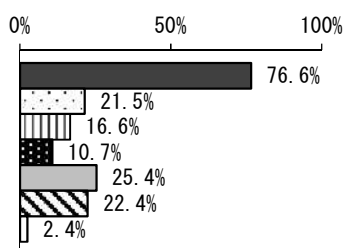
⑨多目的運動広場、その他施設



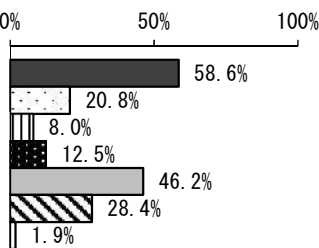
《利用者ニーズ（今後のスポーツ施設に期待すること）》

- 【凡例】
- スポーツをするのに綺麗で快適な環境
 - スタッフの雰囲気・親切な対応
 - スポーツ以外の施設サービス機能の充実
 - 地域のコミュニティ拠点としての機能
 - とにかく安い利用料金
 - 駐車場やスポーツ機材などハード面の充実
 - その他

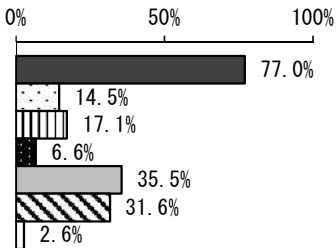
①総合体育館



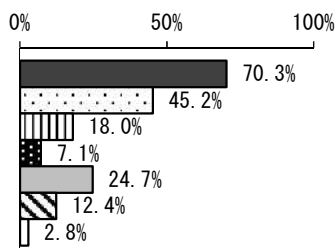
②地区体育館



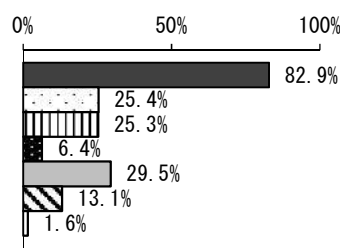
③武道館



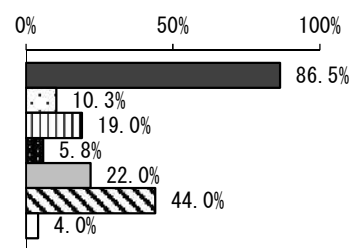
④屋内プール・アイスアリーナ



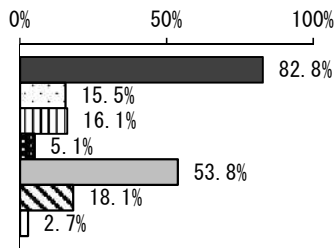
⑤陸上競技場



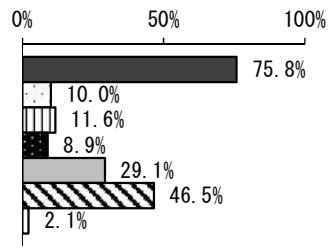
⑥サッカー・ラグビー場



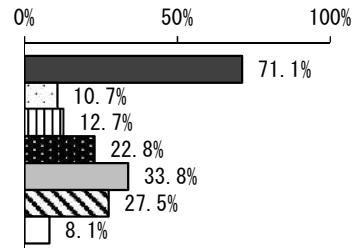
⑦テニスコート



⑧野球・ソフトボール場



⑨多目的運動広場、その他施設



豊橋市「スポーツのまち」づくり推進計画

2021（令和3）年3月発行

豊橋市文化・スポーツ部「スポーツのまち」づくり課

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地

電話（0532）51-2865